

# 城東地区コミュニティセンター建設等工事

## 設 計 図

図面リスト			
建築工事		電気設備工事	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	建築工事特記仕様書(1)	A-26	2階ベランダ屋根伏図 詳細図
A-02	建築工事特記仕様書(2)	A-27	既設屋根伏図
A-03	建築工事特記仕様書(3)	A-28	既設立面図
A-04	建築工事特記仕様書(4)	A-29	既設矩計図
A-05	建築工事特記仕様書(5)	A-30	既設廊下平面詳細図 天井伏図 展開図 建具表
A-06	建築工事特記仕様書(6)	A-31	外構撤去図
A-07	附近見取図 配置図 仕上表	A-32	外構図
A-08	求精図	A-33	物置撤去図
A-09	各室求精図	A-34	仮設計画図
A-10	法チェック		
A-11	1階 平面図	S-01	構造設計概要
A-12	2階 平面図 屋根伏図	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)
A-13	立面図(1)	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)
A-14	立面図(2)	S-04	鉄骨構造標準図(1)
A-15	断面図	S-05	鉄骨構造標準図(2)
A-16	断面詳細図(1)	S-06	ベースバック柱脚工法 標準図
A-17	断面詳細図(2)	S-07	基礎伏図 土間伏図
A-18	平面詳細図(1)	S-08	基礎詳細図 リスト
A-19	平面詳細図(2)	S-09	梁伏図 部材リスト
A-20	展開図(1)	S-10	軸組図
A-21	展開図(2)	S-11	構造詳細図
A-22	1階 天井伏図		
A-23	建具表(1)		
A-24	建具表(2) 家具図		
A-25	EXP.J 詳細図 サイン図		
			機械設備工事
		図面番号	図面名称
		E-01	電気設備特記仕様書1
		E-02	電気設備特記仕様書2
		E-03	電気設備特記仕様書3
		E-04	電気設備特記仕様書4
		E-05	幹線・弱電設備図、弱電機器姿図
		E-06	コンセント設備図、盤結線図
		E-07	電灯設備図、照明器具姿図
		E-08	自動火災報知設備、誘導灯設備図
		E-09	拡声設備 系統図、アンブ容量計算書
		E-10	拡 声(非常放送)設 備 図(1階)
		E-11	拡 声(非常放送)設 備 図(2階)
		M-01	機械設備特記仕様書1
		M-02	機械設備特記仕様書2
		M-03	凡例・衛生機器表・器具表
		M-04	全体1階平面図(改修後) 給排水衛生設備
		M-05	平面詳細図(改修後) 給排水衛生設備
		M-06	平面図・機器表 空調設備
		M-07	平面図・機器表 換気設備
		M-08	平面図(既存棟) 換気設備
		M-09	平面詳細図(改修前) 給排水衛生設備
		M-10	換気計算書



4 地盤工事 （地盤改良）	13 地盤改良	孔壁の超音波測定 ・ 行方 ・ 行わない 補修の加工及び補正 ・ 図示（図面番号： ） 鉄筋の最小かぶり厚さ（ ）mm 鉄筋ごの補強 ・ 図示（図面番号： ） 継手 ・ 重ね継手 ・ （ ） コンクリートの種類 ・ A種 ・ B種（表4.5.1） 設計基準強度（N/mm <sup>2</sup> ） セメントの種類 ・ 高炉セメントB種 ・ （ ） スランプ（mm） ・ 10 ・ （ ） 構造体強度補正係数（S） ・ 3/N/mm <sup>2</sup> ・ （ ）	②コンクリートの種類 種類 ※ JIS A 5308への適合を認められたコンクリート ・ 非露（JIS A 5308に適合したコンクリート） ・ 大気酸化品 図示（図面番号： ） (6.2.1) (表6.2.1)	7 鉄骨工事	①鉄骨製作工場 (株) 日本鉄骨協賛センター又は (株) 全国政府評価機械の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ◎ → R → E → H → S (7.1.3) (7.1.4)	⑧溶接施工 鋼製エンドスタブの切断 ◎ 溶接及び切断箇所 図示（図面番号： ） 切端面の仕上げ ◎標準仕様書〔7.6.7) (b)〕 ・ 図示（図面番号： ） (7.6.7)
	④砂及び砂利地盤 (4.6.2) (4.6.3)	④セメント 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	②施工管理技術者 (7.1.4)		⑧溶接部の試験 試験の種類 溶接部の試験方法 ◎（目視及び計測） ◎ 完全浸漬目視検査の試験方法 図示（図面番号： ） (7.6.12) (表7.6.2)	
5 鉄筋工事	④接コンクリート地盤 (4.6.4)	④接コンクリート地盤 厚さ（mm） ◎ 50 ◎（100） 施工範囲 ◎ 図示（図面番号： S-08） ◎仕上げリレベルを計測し、記録すること。 (4.6.2) (4.6.5)	⑤骨材 アルカリシリカ反応性による区分 ・ A、C（コンクリート中のアルカリ量を規制） ※ A（安全と認められる骨材を参照） なお、A/Cで規制できない場合はAとし、その試験は、施工前年、工事中1回/6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、議員者立ち会いのもと、試験を行う者が施工現場のスタッフカードから試料を採取して試験を行うこと。 (6.3.1) (表6.3.2)	④高力ボルト 種類 ◎トルシヤ形高力ボルト(S10T) ・ JIS規格高力ボルト(S10T) ・ 溶接強めめつき高力ボルト種(RF相当) ・ （ ） 高力ボルトのねじの呼び ◎ 図示（図面番号： S-09） ボルトの繰延距離、ボルト間隔、ゲージ等 ◎ 図示（図面番号： S-05） すべり試験の試験方法 JISB5、ナット回転法かボルトがねじの呼びの倍を超えれば ・ 両向き（ ） (7.2.2) (7.3.2) (7.4.2) (7.4.7)	⑧溶接部の試験 試験の種類 溶接部の試験方法 ◎（目視及び計測） ◎ 完全浸漬目視検査の試験方法 図示（図面番号： ） (7.6.12) (表7.6.2)	
	④床下防湿層 (4.6.2) (4.6.5)	④床下防湿層 施工範囲 ◎ 図示（図面番号： A-13） ポリエチレンフィルム厚さ ◎ 0.15mm以上 ・ （ ） ◎防湿層の重ね幅、基礎底へのみ込みは、250mm以上とする。 (4.6.2) (4.6.5)	⑥コンクリートの材料 混和材料 ◎ 図示（図面番号： S-01） 混和剤の種類、使用方法、使用量 ◎ 標準仕様書〔6.3.1) (4) (b)、標準仕様書〔6.3.2) (4) (f)〕 ・ （ ） 混和剤の種類、使用方法、使用量 ・ 標準仕様書〔6.3.1) (4) (b)、標準仕様書〔6.3.2) (4) (f)〕 ・ （ ） 構造体強度補正係数（S） ◎標準仕様書〔6.3.2)〕 ・ （ ） (6.3.1) (表6.3.2)	⑤普通ボルト ボルト及びナットの材料等、ボルトのねじの呼び ◎ 図示（図面番号： S-09） ボルトの繰延距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示（図面番号： ） (7.2.3) (表7.2.3) (7.3.2)	⑧溶接部の試験 試験の種類 溶接部の試験方法 ◎（目視及び計測） ◎ 完全浸漬目視検査の試験方法 図示（図面番号： ） (7.6.12) (表7.6.2)	
6 コンクリート工事 （コンクリート打設）	①鉄筋 (5.2.1)	1.鉄筋の種類 種類 ◎SD295 ・ D16以下 ・ SD395B ・ D16以上 ◎SD41 ・ D16以上 ・ 建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの (5.2.1)	7 打継ぎ 位置 ・ 標準仕様書〔6.4.4) (1)〕 ・ 図示（図面番号： ） (6.4.2)	⑥溶接材料 (7.2.5)	⑧コンクリート 種類 ◎標準仕様書〔7.2.5) (1) (2) 以外の溶接材料（ ） (7.2.6)	21 耐火遮蔽 (7.9.2) (7.9.3)
	2.溶接金網 (5.2.2)	2.溶接金網 網目の形状、寸法 鉄筋の径（mm） ・ 4 ・ 5 ◎6 ・ （ ） 寸法（mm） ◎100×100 ・ 150×150 ・ （ ） (5.2.2)	8 養生 ・ 普通エコセメント使用の場合の養生養生期間（ ） (6.7.2)	⑦ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
6 コンクリート工事 （コンクリート打設）	3.内法直径 (5.3.2)	3.内法直径 90°未露の折出の内法直径 ・ 図示（図面番号： ） (5.3.2)	③型枠 (6.4.4) (6.8.1) (6.8.2) (表6.8.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
	4.継手 (5.3.4)	4.継手 種類 ◎ 重ね継手 D16以下 ◎ ガス圧接 D16以上 主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ ◎ 標準仕様書〔6.3.4) (3) (7)〕 ・ 図示（図面番号： ） 継手位置 ◎ 各部配筋参考図による ・ 図示（図面番号： ） 鉄筋定着 ◎ 標準仕様書〔6.3.4)〕 ・ 図示（図面番号： ） ◎ 標準仕様書〔6.3.3)〕 ・ 図示（図面番号： ） (5.3.4)	③型枠 材料 ◎埋合板（厚さ）(mm) ◎ 12 ・ （ ） ・ （ ） 打増し厚さ ◎ 化粧部-20 踏床目地、打継ぎ目地、化粧目地の位置、形状及び寸法 ・ 図示（図面番号： ） ・ 断熱材の取付 ・ MCR工法用シート スリーブの仕様、規格等 ・ 標準仕様書〔6.8.1)〕 ・ 図示（図面番号： ） 型枠存置期間及び取外し ◎ 普通エコセメント使用の場合の最小存置期間（ ） (6.8.4)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
6 コンクリート工事 （コンクリート打設）	5.鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5) (表5.3.6)	5.鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ ◎ 標準仕様書〔6.3.6)〕 ・ 図示（図面番号： ） (5.3.5) (表5.3.6)	10 裏面コンクリート (6.11.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
	6.各部配筋 (5.3.7)	6.各部配筋 ◎ 図示（図面番号： S-08） (5.3.7)	11 層中コンクリート (6.12.2)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
6 コンクリート工事 （コンクリート打設）	7.圧接完了後の試験 (5.4.10)	7.圧接完了後の試験 採取試験方法 ◎ 超音波探傷試験 ◎ 引張試験 引強試験方法 ◎ 標準仕様書〔5.4.10) (f) (b)〕 ・ （ ） (5.4.10)	12 マスコンクリート (6.13.1) (6.13.2) (表6.13.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
	8.機械式継手及び溶接継手 (5.5.2) (5.6.3)	8.機械式継手及び溶接継手 ・ 機械式継手 適用箇所（ ） 種類（ ） 性能（ ） 施工完了後の継手部の試験（ ） 不合格となった継手部への措置（ ） 規格相互のあき（ ）mm ・ 溶接継手 適用箇所（ ） 工法（ ） 性能（ ） 施工完了後の溶接部の試験（ ） 不合格となった溶接部への措置（ ） 規格相互のあき（ ）mm (5.5.2) (5.6.3)	13 無筋コンクリート (6.14.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
6 コンクリート工事 （コンクリート打設）	①コンクリートの 気乾単位容積質量に よる種類及び強度 (6.2.1-4)	◎普通コンクリート 設計基準強度（N/mm <sup>2</sup> ） スランプ 適用箇所 ◎R4 18 基礎 ◎R8 18 土間、外構 ◎R15 15 床下コンクリート ・ 軽質コンクリート（6.2.1-3) (6.10.1.2)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
	②コンクリートの 仕上げ (表4.5.1)	②コンクリートの仕上げ コンクリートの種類 ・ A種 ・ B種（表4.5.1） 設計基準強度（N/mm <sup>2</sup> ） セメントの種類 ・ 高炉セメントB種 ・ （ ） スランプ（mm） ・ 10 ・ （ ） 構造体強度補正係数（S） ・ 3/N/mm <sup>2</sup> ・ （ ） (表4.5.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
6 コンクリート工事 （コンクリート打設）	③コンクリートの 種類 (表6.2.1)	③コンクリートの種類 種類 ※ JIS A 5308への適合を認められたコンクリート ・ 非露（JIS A 5308に適合したコンクリート） ・ 大気酸化品 図示（図面番号： ） (6.2.1) (表6.2.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
	④コンクリートの 種類 (表6.3.1)	④コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
6 コンクリート工事 （コンクリート打設）	⑤コンクリートの 種類 (表6.3.1)	⑤コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
	⑥コンクリートの 種類 (表6.3.1)	⑥コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
6 コンクリート工事 （コンクリート打設）	⑦コンクリートの 種類 (表6.3.1)	⑦コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
	⑧コンクリートの 種類 (表6.3.1)	⑧コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
6 コンクリート工事 （コンクリート打設）	⑨コンクリートの 種類 (表6.3.1)	⑨コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
	⑩コンクリートの 種類 (表6.3.1)	⑩コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
6 コンクリート工事 （コンクリート打設）	⑪コンクリートの 種類 (表6.3.1)	⑪コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
	⑫コンクリートの 種類 (表6.3.1)	⑫コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
6 コンクリート工事 （コンクリート打設）	⑬コンクリートの 種類 (表6.3.1)	⑬コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
	⑭コンクリートの 種類 (表6.3.1)	⑭コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
6 コンクリート工事 （コンクリート打設）	⑮コンクリートの 種類 (表6.3.1)	⑮コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
	⑯コンクリートの 種類 (表6.3.1)	⑯コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
6 コンクリート工事 （コンクリート打設）	⑰コンクリートの 種類 (表6.3.1)	⑰コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
	⑱コンクリートの 種類 (表6.3.1)	⑱コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
6 コンクリート工事 （コンクリート打設）	⑲コンクリートの 種類 (表6.3.1)	⑲コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
	⑳コンクリートの 種類 (表6.3.1)	⑳コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
6 コンクリート工事 （コンクリート打設）	㉑コンクリートの 種類 (表6.3.1)	㉑コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
	㉒コンクリートの 種類 (表6.3.1)	㉒コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
6 コンクリート工事 （コンクリート打設）	㉓コンクリートの 種類 (表6.3.1)	㉓コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
	㉔コンクリートの 種類 (表6.3.1)	㉔コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
6 コンクリート工事 （コンクリート打設）	㉕コンクリートの 種類 (表6.3.1)	㉕コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
	㉖コンクリートの 種類 (表6.3.1)	㉖コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
6 コンクリート工事 （コンクリート打設）	㉗コンクリートの 種類 (表6.3.1)	㉗コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
	㉘コンクリートの 種類 (表6.3.1)	㉘コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
6 コンクリート工事 （コンクリート打設）	㉙コンクリートの 種類 (表6.3.1)	㉙コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
	㉚コンクリートの 種類 (表6.3.1)	㉚コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
6 コンクリート工事 （コンクリート打設）	㉛コンクリートの 種類 (表6.3.1)	㉛コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
	㉜コンクリートの 種類 (表6.3.1)	㉜コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
6 コンクリート工事 （コンクリート打設）	㉝コンクリートの 種類 (表6.3.1)	㉝コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
	㉞コンクリートの 種類 (表6.3.1)	㉞コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
6 コンクリート工事 （コンクリート打設）	㉟コンクリートの 種類 (表6.3.1)	㉟コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
	㊱コンクリートの 種類 (表6.3.1)	㊱コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
6 コンクリート工事 （コンクリート打設）	㊲コンクリートの 種類 (表6.3.1)	㊲コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ） (6.3.1) (表6.3.1)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	⑧ターンプラック (7.2.8)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)	22 軽型鉄鋼 (7.11.2)
	㊳コンクリートの 種類 (表6.3.1)	㊳コンクリートの種類 種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメント種 シリカセメント種、フライアッシュセメントA種 ・ （ ） 高炉セメント種又はフライアッシュセメント種 ・ 適用箇所 図示（図面番号： ）				

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板(EPF)

4 押出成形セメント板(EPF)

種類	表面形状及び 産別区分	板厚(mm)	飛び幅 (mm)	工法
・外壁 パネル	・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル	・( )	・( )	・A種 ・B種
・間仕切壁 パネル	・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル	・( )	・( )	・B種 ・C種

パネル幅を300mm以下とする部分 ・適用あり  
 パネル相互の目地幅 (mm)  
 ・長辺 8以上、短辺 15以上 ・( )  
 出隅、入隅の接合部の伸縮調整目地幅 (mm) ・15 ・( )  
 目地及び節間の処理 ・( )  
 外壁パネル補正  
 風圧力に対応した工法 ・適用あり  
 間仕切壁パネル補正  
 パネルに欠き込みを行う場合  
 ・パネル開口の限度 ・図示 (図面番号: )

3 合成高分子ルーフィングシート防水

防水装置  
 ・設置数量 図示 (図面番号: ) 種類 ( )  
 断熱材  
 ・断熱層防水地盤断熱工法  
 種類 ( ) 厚さ ( ) mm  
 防漏用シート ・有リ ・無し

種 別	施 工 箇 所

ルーフィングシート  
 種類 ・標準仕様書〔表9.4.1〕～〔表9.4.3〕 ・図示 ( )  
 厚さ ・標準仕様書〔表9.4.1〕～〔表9.4.3〕 ・図示 ( )  
 絶縁シート  
 ・発泡ポリエチレンシート ・( )  
 固定金具 材質、寸法形状 ( )  
 ・図示 (図面番号: )  
 断熱材 種類、厚さ  
 ・機械的固定工法 図示 (図面番号: )  
 ・接着工法 図示 (図面番号: )

仕上塗料  
 ・図示 (図面番号: ) 種類 ( ) 使用量 ( )  
 接着工法における防水装置  
 ・設置数量 図示 (図面番号: ) 種類 ( )  
 防漏用フィルムを設置 ・有リ ・無し  
 S42又はS44地まで立上り防漏工法  
 立ち上がり部のシート厚さ ・1.5mm ・( ) mm  
 意内保護層工法  
 モルタル塗り厚さ ・( ) mm  
 立上り部の保護モルタル塗厚さ ・7mm以下 ・( ) mm

目地処理  
 PC下地 ・図示 (図面番号: )  
 増設部 Q-F1、S-F1  
 PC入隅部 ・図示 (図面番号: )  
 機械的固定工法  
 風圧力に対応した工法 ・図示 (図面番号: )

9 防水工事

1 アスファルト防水

種 別	施 工 箇 所

改質アスファルトルーフィングシート  
 種類 ・標準仕様書〔表9.2.3〕～〔表9.2.8〕 ・図示 ( )  
 厚さ ・標準仕様書〔表9.2.3〕～〔表9.2.8〕 ・図示 ( )  
 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート  
 種類 ・標準仕様書〔表9.2.5〕～〔表9.2.8〕 ・図示 ( )  
 厚さ ・標準仕様書〔表9.2.5〕～〔表9.2.8〕 ・図示 ( )  
 絶縁シート  
 ・ホリエチレンフィルム (厚さ 0.15mm以上)  
 ・フラットヤーンクロス (10g/m<sup>2</sup>)  
 押え金物  
 ・アルミ製 L=30×15×2.0(mm) ・図示 (図面番号: )  
 断熱材  
 ・断熱保護防水断熱工法  
 種類 ( ) 厚さ ( ) mm  
 ・断熱層防水断熱工法  
 種類 ( ) 厚さ ( ) mm

断熱保護防水 (表9.2.3)～(表9.2.6)  
 立ち上がり部の保護コンクリート ・図示 (図面番号: )  
 乾式保護材 ・使用する  
 立ち上がり部保護材が ・JIS R 1250 ・( )

防水装置 (表9.2.7)  
 ・設置数量 図示 (図面番号: ) 種類 ( )

保護層出防水における仕上塗料 (表9.2.7) (表9.2.8)  
 ・図示 (図面番号: ) 種類 ( ) 使用量 ( )

屋内防水密着工法における保護層 (表9.2.9)  
 ・図示 (図面番号: )  
 E-1の工法 ・行方 ・行わない

防水層の下地モルタル塗り (表9.2.4)  
 ・図示 (図面番号: )  
 立ち上がりのコンクリート打放し仕上げの種類  
 種類 ・B種 ・( )

保護層出防水絶縁断熱工法 (表9.2.4)  
 ルーフドレン回り及び立ち上がり部断熱材の張りじまい位置  
 ・図示 (図面番号: )

保護コンクリートの厚さ (表9.2.5)  
 こて仕上げ ・水下 80mm以上 ・( )  
 底タイル張り ・水下 60mm以上 ・( )  
 立ち上がり部の保護方法  
 ・乾式保護材 ・れんが挿入 ・コンクリート押え  
 ・モルタル押え (図内等) ・( )  
 壁上排水溝  
 ・図示 (図面番号: )

①塗膜防水 (表9.5.1) (表9.5.2)

施 工 箇 所	種 別
位巻センター2階ベランダ 壁・床・壁 設備	X-1
位巻センター2階ベランダ 壁・床・壁 設備	X-2
	Y-1
	Y-2

防水装置 (X-1)  
 ①設置数量 図示 (図面番号: ) 種類 ( )  
 防水層の工数及び各工程の使用量 (X-1、X-2)  
 ②製造所の仕様による ・( )  
 保護層 ( ) ・図示 (図面番号: )

仕上塗料 ( )  
 ・図示 (図面番号: ) 種類 ( ) 使用量 ( )

適用部位 ・図示 (図面番号: )  
 防水層の種類 ・O-4H ・O-4P  
 防水層の下地  
 壁及び天井部の仕上げ ・コンクリート打放し仕上げ (B種)  
 ・図示 (図面番号: )  
 下地処理 ・標準仕様書〔表9.6.4〕(2) ・( )

③シーリング (表9.7.1) (表9.7.2) (表9.7.3) (表9.7.4)

標準仕様書〔表9.7.1〕による	施 工 箇 所	目地処理	種 別

接着性試験 (表9.7.5)  
 ④高接着性試験 ・引強接着性試験

2 改質アスファルトシート防水 (表9.3.1) (表9.3.2) (表9.3.3) (表9.3.4) (表9.3.5)

種 別	施 工 箇 所

改質アスファルトシート  
 種類 ・標準仕様書〔表9.3.1〕～〔表9.3.5〕 ・図示 ( )  
 厚さ ・標準仕様書〔表9.3.1〕～〔表9.3.5〕 ・図示 ( )  
 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート  
 種類 ・標準仕様書〔表9.3.1〕～〔表9.3.5〕 ・図示 ( )  
 厚さ ・標準仕様書〔表9.3.1〕～〔表9.3.5〕 ・図示 ( )  
 押え金物の材質、形状、寸法  
 ・アルミニウム製 L=30×15×2.0(mm) ・( )  
 仕上塗料  
 ・図示 (図面番号: ) 種類 ( ) 使用量 ( )

10 石工事

1 共通 (表10.1.3) (表10.1.5)

2 天然石 (表10.2.1) (表10.2.2) (表10.2.3) (表10.2.4)

使用部位	種類 (産別)	等級	寸法 (mm)	表面 仕上げ	工法	形状
床		※ 2等 ・ 1等		・ 粗磨き ・ ( )		
壁		・ 1等		・ 水磨き ・ ( )		

ジェットバーナー仕上表面 ・平加工あり ・機械加工ババ仕上あり

3 テラゾ (表10.2.1) (表10.2.2)

テラゾタイル

使用部位	種石の種類	種石の大きさ	寸法による 区分	表面仕上
	・ 大理石	・ 1.5～12mm	・ 300型 ・ 400型	・ ( )

テラゾブロック

使用部位	種石の種類	種石の 大きさ	形状	仕上げ面	寸法 (mm)	表面仕上
	・ 大理石	・ 1.5～12mm	・ 甲もの ・ 乙もの	・ 片面 ・ 両面	・ ( )	・ ( )

4 その他の材料 (表10.2.3)

取付用モルタル ・図示 (図面番号: )  
 目地用モルタル ・図示 (図面番号: )  
 石裏面処理材 ・図示 (図面番号: )  
 裏打ち処理材 ・図示 (図面番号: )  
 金物の固定に使用する充填材料 ・図示 (図面番号: )

5 外壁量尺工法 (表10.2.2) (表10.2.3) (表10.3.2) (表10.3.3)

受け金物の材質、形状、寸法 ・図示 (図面番号: )  
 アンカーの材質及び寸法 ・SS400 M12 ・( )  
 あと施工アンカーの材質及び寸法 ・( )  
 ドレンパイプの材質  
 ・樹脂ネット製パイプ クロムメッシュ巻き 25～35φ  
 ・( )

石材の有効厚さ ・25mm以上 ・( )  
 石裏面処理 ・適用する  
 裏打ち処理 ・適用する  
 下地ごしらえ  
 ※ 洗し筋工法 ・あと施工アンカー工法  
 あと施工アンカー・筋筋流し工法  
 目地 一般目地  
 目地幅(mm) ※ 6以上 ・( )  
 伸縮調整目地  
 位置 ・標準仕様書〔表11.1.1〕 ・図示 (図面番号: )  
 シーリング材の目地寸法  
 ※幅、深さとも10mm以上 ・図示 (図面番号: )

6 内壁量尺工法 (表10.2.2) (表10.3.3) (表10.4.2) (表10.4.3)

受け金物の材質、形状、寸法 ・図示 (図面番号: )  
 アンカーの材質及び寸法 ・SS400 M12 ・( )  
 あと施工アンカーの材質及び寸法 ・( )  
 石材の有効厚さ ・20mm以上 ・( )  
 下地ごしらえ  
 ※ あと施工アンカー・筋筋流し工法 ・あと施工アンカー工法  
 目地 一般目地  
 目地幅(mm) ※ 6以上 ・( )  
 伸縮調整目地  
 位置 ※6mごと ・図示 (図面番号: )  
 シーリング材の目地寸法  
 ※幅、深さとも10mm以上 ・図示 (図面番号: )

7 乾式工法 (表10.2.2) (表10.2.4) (表10.5.2) (表10.5.3)

金物の種類、形状、寸法 ・図示 (図面番号: )  
 ・標準仕様書〔表10.2.4〕

取付付工法  
 ・スライド方式 ・ロッキング方式  
 アンカーの材質及び寸法 ・SS304 M10 ・( )  
 あと施工アンカーの材質及び寸法 ・( )  
 石材の有効厚さ ・30mm以上(外壁) ・25mm以上(内壁) ・( )  
 たばけ穴の位置  
 石裏面処理 ・適用する  
 裏打ち処理 ・適用する  
 風圧力に対応した工法 ・図示 (図面番号: )  
 目地  
 目地幅(mm) ※ 8以上 ・( )  
 シーリング材 ・適用する

8 床及び階段の石張り (表10.3.3) (表10.6.2) (表10.6.3)

石材の厚さ ・( )  
 石裏面処理 ・適用する  
 目地 一般目地  
 目地幅(mm) ・ 屋内4mm以上、屋外3～6mm  
 ・図示 (図面番号: )  
 伸縮調整目地  
 位置 ・標準仕様書〔表10.6.2〕(5) (a)  
 ・図示 (図面番号: )  
 シーリング材の目地寸法  
 ・幅、深さとも10mm以上 ・図示 (図面番号: )

9 アーチ、上げ表等の石張り (表10.2.2) (表10.3.3) (表10.7.1) (表10.7.2)

取付け金物 ・標準仕様書〔表10.2.2〕(3) ・( )  
 押え金物及び化粧用モルタル  
 ・図示 ( )  
 吊金物 ※ ステンレス (SUS304) 径6mm長さ60mm(加工物) ・( )  
 吊りボルト ※ ステンレス (SUS304) M10 化粧ナット付き ・( )  
 アンカーの材質及び寸法 ・SS304 M10 ・( )  
 あと施工アンカーの材質及び寸法 ・( )  
 取付工法 ・外壁湿式工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法  
 石材の厚さ ・( )  
 石裏面処理 ・適用する  
 裏打ち処理 ・適用する  
 目地 一般目地  
 目地幅(mm) ・ 6以上 ・( )  
 伸縮調整目地  
 位置 ・図示 (図面番号: )  
 シーリング材の目地寸法  
 ・幅、深さとも10mm以上 ・図示 (図面番号: )

10 笠木、甲板等 (表10.2.2) (表10.3.3) (表10.5.3) (表10.7.1) (表10.7.2)

取付け金物 ・標準仕様書〔表10.2.2〕(3) ・( )  
 アンカーの材質及び寸法 ・SS304 M10 ・( )  
 あと施工アンカーの材質及び寸法 ・( )  
 取付工法 ・外壁湿式工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法  
 石材の厚さ ・( )  
 石裏面処理 ・適用する  
 取付け代(乾式工法の場合) (mm)  
 ・標準仕様書〔表10.5.3〕(2) ・( )  
 石表の伸縮調整目地(乾式工法の場合)  
 ・適用する ・図示 (図面番号: )  
 目地 一般目地  
 目地幅(mm) ・( )  
 伸縮調整目地(外壁湿式工法の場合)  
 位置 ・図示 (図面番号: )  
 シーリング材の目地寸法  
 ・幅、深さとも10mm以上 ・図示 (図面番号: )

11 隔て板 (表10.7.4)

石材の厚さ ※40mm ・( )

11 タイル工事

①タイル張り (表11.1.2) (表11.2.3) (表11.2.3) (表11.3.2) (表11.3.2)

施工箇所	工 法	種類	形状寸法	新築/リノ	うわぐすり	役物	備 考 特注色	耐凍害性
1階・2階	湿式	磁器質	150x150	○				

・役物 ( )  
 ・試験種りを行う  
 ・見本積まを行う  
 ・既モルタル積合 ( )

セメントモルタル塗り又は有機系接着剤あと張り工事 (表11.2.7) (表11.3.3)  
 コンクリート床底面の処理 ・適用箇所 図示 (図面番号: )  
 ・ 自然工法 ・ MCR工法  
 有機系接着剤あと張り工事  
 シーリング材  
 打敷、ひび割れ誘発目地 ※内2 ・( )  
 伸縮、その他目地 ※内2 ・( )

12 木工事

①木材 (表12.1.4) (表12.1.1) (表12.1.2) (表12.1.2) (表12.4.1) (表12.5.1) (表12.6.1) (表12.7.1) (表12.7.2)

見方掛り部の表面仕上げ  
 機械加工 ・A種 ○B種 ・C種  
 適用箇所 ( )  
 手加工 内部分造材 ※H-B種 ・H-A種 ・H-C種  
 木材の乾燥 下地材 ※H-C種 ・H-A種 ・H-B種

部材名称	種別
下地材	※A種 ・B種
造作材	※A種 ・B種

樹種 ○図示 (図面番号: )

「製材の日本産林規格」による製材 (表12.2.1) (2) (7)

	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保管処理	材面の品質	構造材
下地用		・( )				
針葉樹製材	( )					
造作用		・( )				
針葉樹製材	( )					
広葉樹製材	( )	・( )	・10%以下			

「製材の日本産林規格」以外の製材 (表12.2.1) (2) (6) (表12.2.2)  
 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理及び含水率  
 ・図示 (図面番号: )  
 造作材の材面の品質 ※A種 ・( )

樹種

部 位	樹 種	長さ材

2 製材 (表12.2.1) (2) (7)

「製材の日本産林規格」による製材 (表12.2.1) (2) (7)

	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保管処理	材面の品質	構造材
下地用		・( )				
針葉樹製材	( )					
造作用		・( )				
針葉樹製材	( )					
広葉樹製材	( )	・( )	・10%以下			

「製材の日本産林規格」以外の製材 (表12.2.1) (2) (6) (表12.2.2)  
 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理及び含水率  
 ・図示 (図面番号: )  
 造作材の材面の品質 ※A種 ・( )

樹種

部 位	樹 種	長さ材

3 集材材等 (表12.2.1)

「集材材の日本産林規格」による造作用集材材 (表12.2.1)

造作用集材材	品名、樹種・寸法	品質	化粧面処理
造作用集材材	・図示 (図面番号: )	※ 1等	
化粧びり造作用集材材	・図示 (図面番号: )	※ 1等	
化粧びり構造用集材材	・図示 (図面番号: )		

「集材材の日本産林規格」以外の造作用集材材  
 樹種、寸法、化粧面処理の厚さ及び含水率  
 ・図示 (図面番号: )





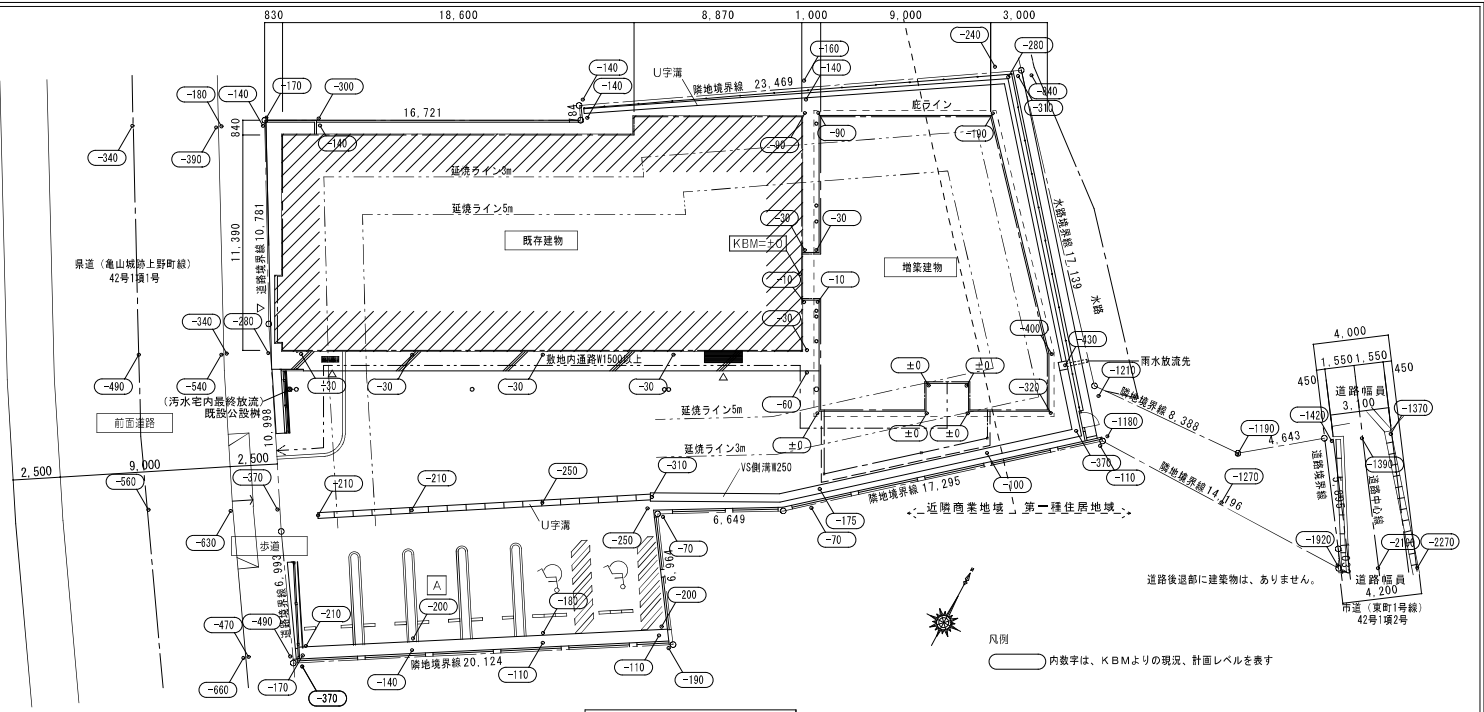


20 ユニット及びその他工事 （続き）	4 トイレブース	<p>表層仕上 ・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエチレン樹脂系化粧板</p> <p>脚部 ・幅木 ・図示（図面番号： ）</p> <p>扉小口の材質 ・ステンレス製 ・アルミ製</p>	(20.2.5)	①埋の戻し土	<p>※ B種 ・ A種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土</p>	(21.2.1)																																																
	5 階段降り止め	<p>・ステンレスSUS304製 ビニルタイヤ入り（両端フランドエンド付き） ・（ ）</p> <p>寸法 ・幅25mm ・図示（図面番号： ）</p> <p>工法 ・接着工法 ・埋込工法</p>	(20.2.6)	5 土工	<p>速力の鉄筋コンクリート管 ・図示（図面番号： ）</p> <p>基礎の厚さ、種類 ・図示（図面番号： ）</p> <p>視覚ポリ塩化ビニル管 ・図示（図面番号： ）</p> <p>基礎の厚さ、種類 ・接着剤 ・ゴム輪</p>	(21.2.2)																																																
	6 扉板及び ホワイトボード	<p>・扉板</p> <p>扉板の種類 ・鏡付け ・（ ）</p> <p>扉板の色 ・（ ）</p> <p>・ホワイトボード（白）</p>	(20.2.8)	⑥樹きよ、礫石、削溝	<p>コンクリート礫石、削溝 形状、寸法 ・図示（図面番号： ）</p> <p>地盤 厚さ ※ 100mm ・図示（図面番号： ）</p>	(21.3.1) (21.3.2)																																																
	7 鏡	厚さ ・5mm ・（ ）mm	(20.2.9)	22 舗装工事	1 路床	<p>路床の材料（厚さは図示（図面番号： ））</p> <p>・道筋層 ・川砂 ・海砂又は良質な山砂 ・運上抑制層 ・切込み砂利 ・砂 ・（ ）</p> <p>・フィルター層 ・行方砂</p> <p>追加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰（ ）号 ・消石灰（ ）号</p> <p>添加量（ ）kg/m<sup>2</sup>（目標値） ・5以上 ・（ ）</p> <p>塵土に用いる材料 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土</p> <p>C種の場合 建設発生土最大量（ ）m<sup>3</sup> 片道の運搬距離（ ）km</p> <p>試験 ・路床土の支持力比（R）試験 ・路床表面の度の試験 ・現場CPR試験</p>	(22.2.2) (22.2.3) (表22.2.1) (22.2.4) (22.2.5)																																															
	8 表示	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>材質</th> <th>厚さ</th> <th>寸法</th> <th>印刷等の種類</th> <th>取付方法</th> </tr> <tr> <td>・匿名札</td> <td>・アクリル</td> <td>・5mm</td> <td>・（ ）</td> <td>・シルクスクリーン印刷</td> <td>・（ ）</td> </tr> <tr> <td>・（ ）</td> <td>・（ ）</td> <td>・（ ）</td> <td>・（ ）</td> <td>・（ ）</td> <td>・（ ）</td> </tr> <tr> <td>・案内板</td> <td>・アクリル</td> <td>・5mm</td> <td>・（ ）</td> <td>・シルクスクリーン印刷</td> <td>・（ ）</td> </tr> <tr> <td>・（ ）</td> <td>・（ ）</td> <td>・（ ）</td> <td>・（ ）</td> <td>・（ ）</td> <td>・（ ）</td> </tr> </table> <p>・衝突防止表示 図示（図面番号： ）</p> <p>・非常用出入口表示 図示（図面番号： ）</p>	区分	材質	厚さ	寸法	印刷等の種類	取付方法	・匿名札	・アクリル	・5mm	・（ ）	・シルクスクリーン印刷	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・案内板	・アクリル	・5mm	・（ ）	・シルクスクリーン印刷	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	(20.2.10)	②路盤	<p>路盤の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>路盤の種類</th> <th>路盤の厚さ(mm)</th> <th>路盤材料</th> </tr> <tr> <td>○ アスファルト舗装</td> <td>○ (150) ・ ( )</td> <td>○ 再生クラッシュラン</td> </tr> <tr> <td>・ カラー舗装</td> <td>・ ( ) ・ ( )</td> <td>・ クラッシュラン</td> </tr> <tr> <td>・ 透水性アスファルト舗装</td> <td>・ ( ) ・ ( )</td> <td>・ 舗装スラグ</td> </tr> <tr> <td>・ インターロック型舗装</td> <td>・ ( ) ・ ( )</td> <td>・ クラッシュラン</td> </tr> <tr> <td>○ (コンクリート舗装)</td> <td>・ ( ) ○ (100)</td> <td>・ ( )</td> </tr> </table>	路盤の種類	路盤の厚さ(mm)	路盤材料	○ アスファルト舗装	○ (150) ・ ( )	○ 再生クラッシュラン	・ カラー舗装	・ ( ) ・ ( )	・ クラッシュラン	・ 透水性アスファルト舗装	・ ( ) ・ ( )	・ 舗装スラグ	・ インターロック型舗装	・ ( ) ・ ( )	・ クラッシュラン	○ (コンクリート舗装)	・ ( ) ○ (100)	・ ( )	(22.3.2) (表22.3.1) (22.3.3)
	区分	材質	厚さ	寸法	印刷等の種類	取付方法																																																
	・匿名札	・アクリル	・5mm	・（ ）	・シルクスクリーン印刷	・（ ）																																																
	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）																																																
	・案内板	・アクリル	・5mm	・（ ）	・シルクスクリーン印刷	・（ ）																																																
	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	・（ ）																																																
路盤の種類	路盤の厚さ(mm)	路盤材料																																																				
○ アスファルト舗装	○ (150) ・ ( )	○ 再生クラッシュラン																																																				
・ カラー舗装	・ ( ) ・ ( )	・ クラッシュラン																																																				
・ 透水性アスファルト舗装	・ ( ) ・ ( )	・ 舗装スラグ																																																				
・ インターロック型舗装	・ ( ) ・ ( )	・ クラッシュラン																																																				
○ (コンクリート舗装)	・ ( ) ○ (100)	・ ( )																																																				
9 衝突ラインング	適用安全使用速度 ・（ ）（ ）	(20.2.11)	③アスファルト舗装	<p>舗装の構成及び厚さ ○ A=15 ・ 図示（図面番号： ）</p> <p>・ A=30 ・（ ）</p> <p>表層の種類 ○ 密粒度774H1混合物 (13) ・ 細粒度774H1混合物 (13) ・（ ）</p> <p>裏層の種類 ・ 密粒度774H1混合物 (20) ・（ ）</p> <p>試験 ・ アスファルト混合物等の抽出試験</p>	(22.4.2) ~ (22.4.6) (表22.4.1) ~ (表22.4.6)																																																	
10 ブラインド	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>スラット</th> <th>開閉方式</th> <th>スラットの成形幅(mm)</th> <th>ヘッドボックス・ボトムレールの種類</th> </tr> <tr> <td>・ 横折ブラインド</td> <td>・ アルミニウム合金</td> <td>・ ギヤ式 ・ コード式</td> <td>・ 25 ・（ ）</td> <td>・ 横製 ・（ ）</td> </tr> <tr> <td>・ 縦折ブラインド</td> <td>・ アルミニウム合金</td> <td>・ 手寄せ ・ コード式</td> <td>・ 83 ・ 100 ・（ ）</td> <td>・（ ）</td> </tr> </table>	形式	スラット	開閉方式	スラットの成形幅(mm)	ヘッドボックス・ボトムレールの種類	・ 横折ブラインド	・ アルミニウム合金	・ ギヤ式 ・ コード式	・ 25 ・（ ）	・ 横製 ・（ ）	・ 縦折ブラインド	・ アルミニウム合金	・ 手寄せ ・ コード式	・ 83 ・ 100 ・（ ）	・（ ）	(20.2.12)	④コンクリート舗装	<p>舗装の構成及び厚さ ○ 図示（図面番号： A=22 ）</p> <p>構造 ・ 標準仕様書 [表22.5.1] ・（ ）</p> <p>特殊モメント ・ 従用する</p> <p>注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ</p> <p>目地 ・ 種類（ ） ・ 間隔（ ） ・ 標準仕様書 [表22.5.3]</p>	(22.5.2) ~ (22.5.6)																																		
形式	スラット	開閉方式	スラットの成形幅(mm)	ヘッドボックス・ボトムレールの種類																																																		
・ 横折ブラインド	・ アルミニウム合金	・ ギヤ式 ・ コード式	・ 25 ・（ ）	・ 横製 ・（ ）																																																		
・ 縦折ブラインド	・ アルミニウム合金	・ 手寄せ ・ コード式	・ 83 ・ 100 ・（ ）	・（ ）																																																		
11 ロールスクリーン	<p>操作方法 寸法及び材質 ・ スプリング式 ・ コード式 ・ 電動式 ・ 図示（図面番号： ）</p>	(20.2.13)	5 カラー舗装	<p>種類</p> <p>・ 加納系 構成及び厚さ（ ）</p> <p>・ 混合物 ・ アスファルト ・ 石油樹脂系（顔料の添加量： ）</p> <p>・ 添加材 ・ 着色骨材 ・ 自然石</p> <p>・ 常温系 工法 ・ ニート工法 ・ 塗布工法 着色部下部 ・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装</p>	(22.6.2) (22.6.3)																																																	
12 カーテン及び カーテンレール	<p>カーテンの形式等</p> <table border="1"> <tr> <th>きり地</th> <th>ひだの種類</th> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> </tr> <tr> <td>・ ドレープ ・レース ・ 既成（ ）</td> <td>・ フランスひだ ・ 箱ひだ ・ つまみひだ ・ フレームひだ ・ 片むち</td> <td>・ 片引き ・ 引分け</td> <td>・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動</td> </tr> <tr> <td>・ 縫製 （透光（ ）織）</td> <td>・（ ）</td> <td>・（ ）</td> <td>・（ ）</td> </tr> </table>	きり地	ひだの種類	形式	開閉操作	・ ドレープ ・レース ・ 既成（ ）	・ フランスひだ ・ 箱ひだ ・ つまみひだ ・ フレームひだ ・ 片むち	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動	・ 縫製 （透光（ ）織）	・（ ）	・（ ）	・（ ）	(20.2.14)	6 透水性アスファルト 舗装	<p>舗装材料及び厚さ ストレートアスファルト 厚さ(mm) ・（ ） ・ 図示（図面番号： ）</p> <p>試験 ・ 開粒度アスファルト混合物の抽出試験</p>	(22.7.2) (22.7.6) (表22.7.1)																																					
きり地	ひだの種類	形式	開閉操作																																																			
・ ドレープ ・レース ・ 既成（ ）	・ フランスひだ ・ 箱ひだ ・ つまみひだ ・ フレームひだ ・ 片むち	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動																																																			
・ 縫製 （透光（ ）織）	・（ ）	・（ ）	・（ ）																																																			
13 プレキャスト コンクリート工事	<p>補強鉄筋の径 ・ 3,2mm ・（ ）</p> <p>補強鉄筋の網目寸法 ・（ ）</p> <p>設計基準強度Fc 配筋 ・ 図示（図面番号： ）</p> <p>取付方法 ・ 図示（図面番号： ）</p>	(20.3.2) (20.3.3) (20.3.4)	6 芝、牧付け種 及び地盤舗	<p>芝 種類 ※ コウライシバ ・ ノシバ ・（ ）</p> <p>牧付けは種及び地被種 ・ 図示（図面番号： ）</p>	(23.4.2) (23.4.3)																																																	
14 開閉石及び 層切ブロック	<p>材質 ・（ ）</p> <p>種類及び質量区分 ・ 図示（図面番号： ）</p> <p>種別 ・ 枠組み ・ 有積み 目盛り ・（ ）</p> <p>伸縮調整目地 ・ 材質（ ） ・ 厚さ（ ）mm</p>	(20.4.2) (20.4.3)	7 崖上緑化	<p>地盤基礎及び材料</p> <p>・ 崖上緑化システム 土壌層の厚さ ・ 図示（図面番号： ）</p> <p>排水層 ・ 軽量骨材（層の厚さ： ） ・ 板状成形品</p> <p>補込み用土 ・ 改良土 ・ 人工軽量土</p> <p>樹木の材質 図示（図面番号： ）</p> <p>寸法 図示（図面番号： ）</p> <p>株立数 図示（図面番号： ）</p> <p>・ 崖上緑化軽量システム 芝及び地被種の樹根及びに種類等 ・ 図示（図面番号： ）</p> <p>見切り材、護根材、水抜き管、マルチング材等 ・ 図示（図面番号： ）</p> <p>支柱 ・ 図示（図面番号： ）</p> <p>かん水装置 図示（図面番号： ）</p> <p>風圧力に対応した工法 ・ 図示（図面番号： ）</p>	(23.5.2) (23.5.3) (23.5.4)																																																	

21 排水工事	1 排水管	<p>排水管用材料</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>管の種類</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 視覚ポリ塩化ビニル管</td> <td>VP100</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材質	管の種類	呼び径	備考	・ 視覚ポリ塩化ビニル管	VP100							(21.2.1) (表21.2.1)	24 外構工事	1 旗竿	<p>材質 ・ アルミニウム製 ・（ ）</p> <p>形式 テーパー付型 ・ ロープ式 ・ ハンドル式</p> <p>脚部 ・ 埋込式 ・ ベース式</p> <p>高さ(m) ・ 5 ・ 6 ・ 7</p>	
	材質	管の種類	呼び径	備考															
	・ 視覚ポリ塩化ビニル管	VP100																	
	②排水機等	<p>・ 排水機 種類及び寸法 ・ 図示（図面番号： ）</p> <p>③ 適用容量（1~2）</p> <p>④ 排水溝 種類及び寸法 ○ 図示（図面番号： ）</p> <p>⑤ ふた/グレーディングの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインベリッパ</th> <th>ボルト固定</th> </tr> <tr> <td>SUS製（補目/スチール）</td> <td>積雪・凍害</td> <td>T=2</td> <td>9mm程度</td> <td></td> </tr> </table>	材質	用途	適用荷重	メインベリッパ	ボルト固定	SUS製（補目/スチール）	積雪・凍害	T=2	9mm程度		(21.2.1)	2 フェンス	<p>・ ネットフェンス ・ 網材種（ ・ ビニル被覆鉄線 ・（ ））</p> <p>・ メッシュフェンス 網材種（ ・ 樹脂被覆 ・ 工場塗装 ・（ ））</p> <p>・ 格子フェンス 網材種（ ・ 樹脂被覆 ・ 工場塗装 ・（ ））</p>				
	材質	用途	適用荷重	メインベリッパ	ボルト固定														
	SUS製（補目/スチール）	積雪・凍害	T=2	9mm程度															
	③地盤の材料	<p>○ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利又は切込砂利 ・ 砂の相違試験</p>	(21.2.1)																

22 舗装工事	7 ブロック系舗装	<table border="1"> <tr> <th>舗装</th> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ コンクリート 平積舗装</td> <td>・ 普通平積</td> <td>・ 300角</td> <td>・ 60</td> <td>目地 ・ 砂 ・ モルタル</td> </tr> <tr> <td>・ 透水性平積</td> <td>・（ ）</td> <td>・（ ）</td> <td>表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ インター ロック型 ブロック舗装</td> <td>・ 普通ブロック</td> <td rowspan="2">車道部 ・ 60 ・（ ）</td> <td rowspan="2">歩道部 ・ 60 ・（ ）</td> <td>表面加工 ・ 標準品 ・（ ）</td> </tr> <tr> <td>・ 透水性ブロック</td> <td>・ 曲げ強度 ・（ ）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ 透水性ブロック</td> <td>・ 80 ・ 100</td> <td></td> <td>施工方法 ・ 立ち張り ・（ ）</td> </tr> </table>	舗装	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考	・ コンクリート 平積舗装	・ 普通平積	・ 300角	・ 60	目地 ・ 砂 ・ モルタル	・ 透水性平積	・（ ）	・（ ）	表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し	・ インター ロック型 ブロック舗装	・ 普通ブロック	車道部 ・ 60 ・（ ）	歩道部 ・ 60 ・（ ）	表面加工 ・ 標準品 ・（ ）	・ 透水性ブロック	・ 曲げ強度 ・（ ）	・ 透水性ブロック		・ 80 ・ 100		施工方法 ・ 立ち張り ・（ ）	(22.6.2) (22.6.3) (表22.6.1)	8 砂利敷き	<p>・ 透路部 ※ A種 ・ B種 ・（ ）</p> <p>・ 建物周囲 ※ B種 ・ A種 ・（ ）</p>	(22.9.2) (表22.9.1)
	舗装	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考																											
	・ コンクリート 平積舗装	・ 普通平積	・ 300角	・ 60	目地 ・ 砂 ・ モルタル																											
		・ 透水性平積	・（ ）	・（ ）	表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し																											
	・ インター ロック型 ブロック舗装	・ 普通ブロック	車道部 ・ 60 ・（ ）	歩道部 ・ 60 ・（ ）	表面加工 ・ 標準品 ・（ ）																											
		・ 透水性ブロック			・ 曲げ強度 ・（ ）																											
	・ 透水性ブロック		・ 80 ・ 100		施工方法 ・ 立ち張り ・（ ）																											
	1 観視地の確認等	<p>試験 土壌の栄養イオン濃度(mg)試験 ・ 電気伝導率(EC)の試験 ・（ ）の試験</p>	(23.1.3)	2 植栽基礎	<p>植栽基礎設置工法 ・ 樹木（ ※ A種 ・（ ）） ・ 芝及び地被種（ ※ B種 ・（ ））</p> <p>有効土層 面積 ・ 図示（図面番号： ） 厚さ ・ 図示（図面番号： ）</p> <p>排水設備 ・ 設ける （ ・ 排水溝 ・ 排水層 ・ 層切排水 ・（ ））</p> <p>埋込み用土 ・ 現場発生の良質土 ・ 客土 土壌改良材 ・（ ）</p>	(23.2.2) (23.2.3) (表23.2.1) (表23.2.2)																										
	3 植樹	<p>樹木の種類 ・ 図示（図面番号： ）</p> <p>寸法 ・ 図示（図面番号： ）</p> <p>株立数 ・ 図示（図面番号： ）</p> <p>刈込み ・ あり ・ なし 支柱材 ・ 丸太（防腐処理方法 ※ 加圧防腐処理方法 ・（ ）） ・（ ）</p> <p>支柱形式 ・ 鳥居形 ・ ハツ掛け系 ・（ ）</p> <p>幹巻き用材料 ※ 幹巻き用テープ ・ わら ・ こも</p>	(23.3.2) (23.3.3)	4 新植樹木の移植	引渡しの日から ・ 1年 ・（ ）	(23.3.4)																										
	5 移植樹木の枯損処理	引渡しの日から ・ 1年 ・（ ）	(23.3.6)	7 崖上緑化																												
6 芝、牧付け種 及び地盤舗		(23.4.2) (23.4.3)																														
7 崖上緑化		(23.5.2) (23.5.3) (23.5.4)																														

附近見取図



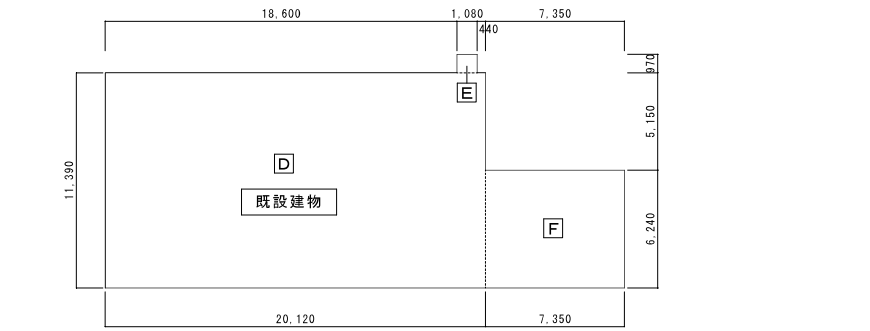
配置図 1/200

建築概要		外部仕上表				ポーチ屋根	
工事名	城東地区コミュニティセンター建設等工事	屋根	大屋根：カラーガルバリウム鋼板t=0.5 瓦葺き（芯木なし）	エントランスポーチ	アルミ製壁屋根	屋根	カラーガルバリウム鋼板t=0.5 折板葺きH=90一部FRP折板t=2.0 H=90
工事場所	三重県亀山市東町1丁目8-7	野地板	硬質木片セメント板t=25+高性能フェノールフォームt=25 ゴムアスルーフィングt=1.0	軒	アルミ製壁屋根	鼻隠パネル	カラーガルバリウム鋼板t=0.8
敷地面積	1088.80 m <sup>2</sup>	鼻隠	破風：屋根硬質木片セメント板t=25下地カラーガルバリウム鋼板t=0.5加工	壁	硬質塩ビ 前高W65	軒	硬質塩ビ 前高W35
構造	鉄骨造 半屋建て	笠木	アルミ既製品（アルミカラー）W200	外壁	硬質塩ビφ100着色管 つかみ金物：ステンレス製（SUS304）	壁	硬質塩ビφ75着色管 つかみ金物：ステンレス製（SUS304）
建築面積	326.85 m <sup>2</sup> （既設建物）+ 190.75 m <sup>2</sup> （増築建物）= 517.60m <sup>2</sup>	谷	耐酸被覆鋼板t=0.5 自在ドレーンφ75	巾木	透湿防水シートの上高業系軒（φ）t=16 金具留工法 土台木切り：カラーGL鋼板t=0.35	柱、梁	下地処理の上DP塗
延べ面積	598.51 m <sup>2</sup> （既設建物）+ 166.02 m <sup>2</sup> （増築建物）= 764.53m <sup>2</sup>	野地板	硬質木片セメント板t=25 ゴムアスルーフィングt=1.0	ポーチ	コンクリート打設し柵 撥水性阻材止材（ケイ酸系養生布防水）		
		軒天	玄関：アルミスパンドレルt=1.0 屋根面：硬質繊維混入セメント板t=12 塗装品		磁器質タイル150角 積水ビット：ステンレスグレーテング蓋 溝内防水モルタル塗		

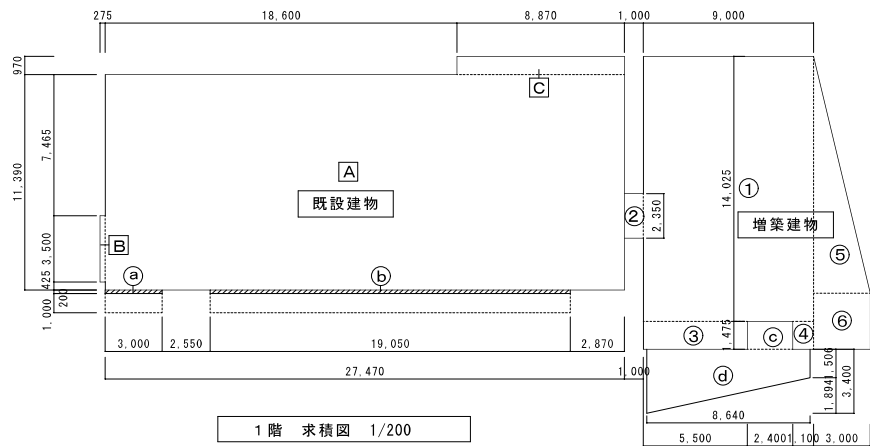
内部仕上表 1.各部分の仕上材（下地）は、原則として全てF☆☆☆☆とする。（建具、造り付家具類などもこれに準ずる）（規制対象外を除く） 2.クロロビリスを使用しない。

室名	床	巾木	壁	天井	天井高	窓	防音	防煙	備考
ホール	磁器質タイル150角	モルタル	不燃クロス	LGS下地 PBT=12.5	2.700	塩ビ			
事務室	ビニル床シートt=2.5（耐湿工法）	ビニル巾木H=60	不燃クロス	LGS下地 PBT=12.5	2.700	塩ビ			
調理室	ビニル床シートt=2.5（耐湿工法）	コンクリート金こて	不燃クロス	LGS下地 PBT=12.5	2.700	塩ビ			
会議室	ビニル床シートt=2.5（耐湿工法）	コンクリート金こて	不燃クロス	LGS下地 PBT=12.5	2.700	塩ビ			システムキッチンt=2850 消火器ボックス
廊下	ビニル床シートt=2.5（耐湿工法）	コンクリート金こて	不燃クロス	LGS下地 PBT=12.5	2.700	塩ビ			消火器ボックス
倉庫(1)	モルタル塗コテ仕上	コンクリート	NAD塗装	LGS下地 ケイカル板t=8.0 外壁屋線ライン部PBT=12.5	2.500	塩ビ			
倉庫(2)	ビニル床シートt=2.5（耐湿工法）	コンクリート金こて	NAD塗装	LGS下地 ケイカル板t=8.0 外壁屋線ライン部PBT=12.5	2.500	塩ビ			

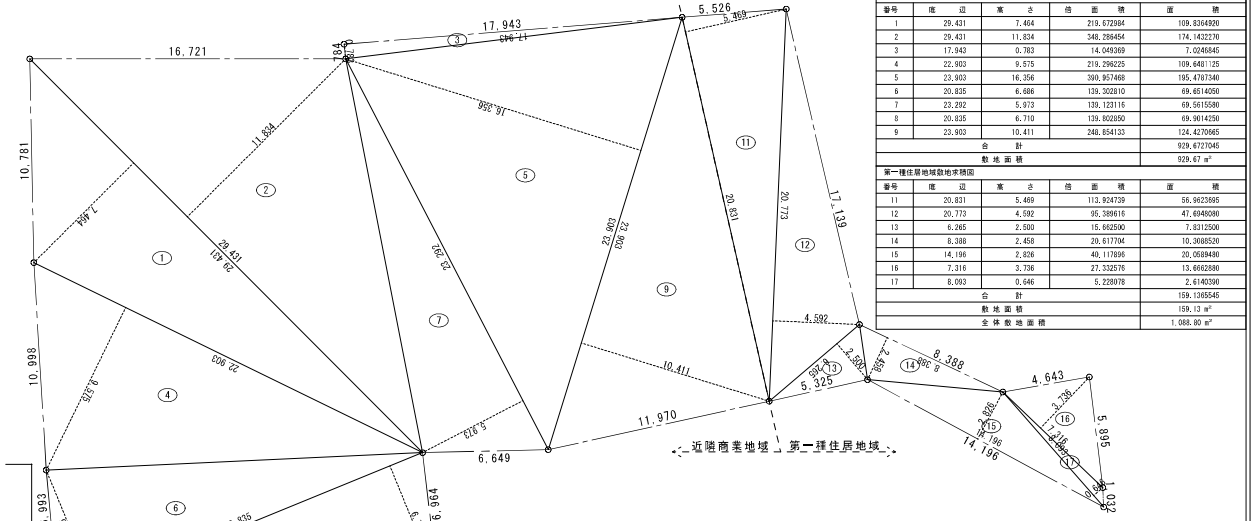
共通事項	材料認定番号	耐火・準耐火認定番号	凡例
1 LGS製のスタッドは、平面詳細図による特記なき限りW=65。	PBT=12.5	不燃 NM-8619	NAD
2 ビニルクロスはA級とする。	ケイカル板t=8	不燃 NM-8578	DP
3 外壁面：グラスウール24K t=100 天井裏：グラスウール24K t=100	化粧ケイカル板t=6	不燃 NM-9701	
4 建築法第37条に規定する建築材料を使用する。	耐水PBT=12.5	不燃 NM-9639	
5 外壁面屋線ラインに掛かる内壁は、天井内部外壁面高さまでPBT=12.5張上げること。	不燃クロス貼	不燃 NM-3991	
	硬質繊維混入セメント板t=12 塗装品	不燃 NM-3011	
	耐酸被覆鋼板t=0.5	不燃 NE-0029	
	FRP折板t=2.0	鋼製下地DR-0805	



2階 求積図 1/200



1階 求積図 1/200

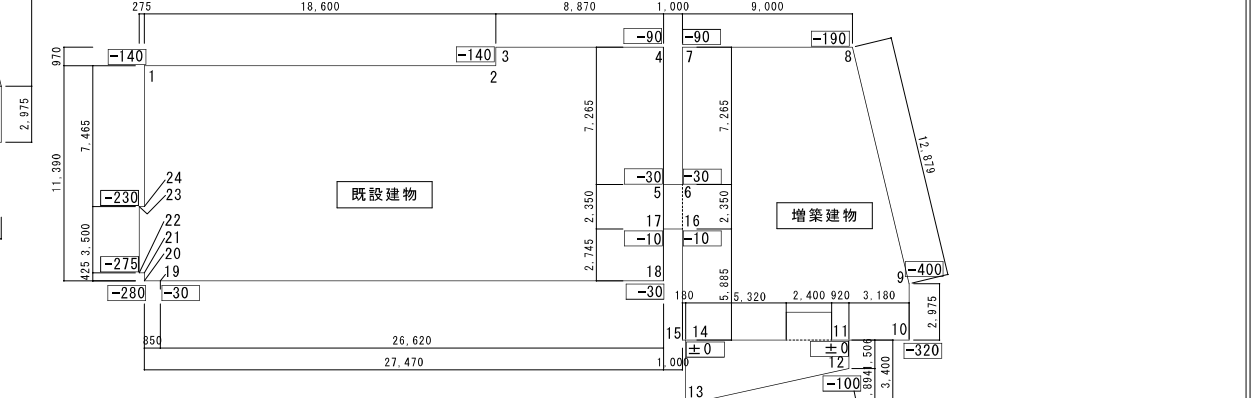


敷地求積図 1/200

近隣商業地域敷地求積図				
番号	幅	長さ	積算積	面積
1	29.431	7.464	219.67264	109.836320
2	29.431	11.824	348.296544	174.1482720
3	17.943	0.763	14.045369	7.0226845
4	22.903	9.875	219.996225	109.9981125
5	23.903	16.356	390.857468	195.4287340
6	20.835	6.686	139.302810	69.6514050
7	23.292	5.973	139.123116	69.5615580
8	20.836	6.710	139.802850	69.9014250
9	23.903	19.411	464.841233	232.4206165
合計				929.47 m <sup>2</sup>

第一種住居地域敷地求積図				
番号	幅	長さ	積算積	面積
11	20.831	5.469	113.924739	56.9623695
12	20.779	4.592	95.399816	47.6999080
13	6.965	2.500	15.062500	7.5312500
14	8.388	2.450	20.551704	10.2758520
15	14.196	2.826	40.117896	20.0589480
16	7.316	3.736	27.332576	13.6662880
17	8.093	0.646	5.228978	2.6140390
合計				159.138545
敷地面積				159.13 m <sup>2</sup>
全体敷地面積				1,088.60 m <sup>2</sup>



※※FLからの高さを示す

No	長さ	FLからの高低差	FLからGLまでの面積	No	長さ	FLからの高低差	FLからGLまでの面積
1-2	18.600	-140 - -140	18.600 x -140 = -2.604	13-14	3.400	-175 - ±0	3.400 x -175 ±0 /2 = -0.298
2-3	0.970	-140 - -140	0.970 x -140 = -0.136	14-15	0.180	±0 - ±0	0.180 x ±0 ±0 = 0
3-4	8.870	-140 - -90	8.870 x -140-90 /2 = -1.020	15-16	5.885	±0 - -10	5.885 x ±0-10 /2 = -0.029
4-5	7.265	-90 - -30	7.265 x -90-30 /2 = -0.436	16-17	1.000	-10 - -10	1.000 x -10 = -0.010
5-6	1.000	-30 - -30	1.000 x -30 = -0.030	17-18	2.745	-10 - -30	2.745 x -10-30 /2 = -0.055
6-7	7.265	-30 - -90	7.265 x -30-90 /2 = -0.436	18-19	26.620	-30 - -30	26.620 x -30 = -0.800
7-8	9.000	-90 - -190	9.000 x -90-190 /2 = -1.260	19-20	0.850	-30 - -280	0.850 x -30-280 /2 = -0.132
8-9	12.879	-190 - -400	12.879 x -190-400 /2 = -3.799	20-21	0.425	-280 - -275	0.425 x -280-275 /2 = -0.118
9-10	2.975	-400 - -320	2.975 x -400-320 /2 = -1.071	21-22	0.275	-275 - -275	0.275 x -275 = -0.076
10-11	3.180	-320 - ±0	3.180 x -320 ±0 /2 = -0.509	22-23	3.500	-275 - -230	3.500 x -275-230 /2 = -0.884
11-12	1.506	±0 - -100	1.506 x ±0-100 /2 = -0.075	23-24	0.275	-230 - -230	0.275 x -230 = -0.063
12-13	8.845	-100 - -175	8.845 x -100-175 /2 = -1.216	24-1	7.465	-230 - -140	7.465 x -230-140 /2 = -1.381
小計	82.355		-12.592	小計	52.620		-3.846
合計	134.975		-16.438				

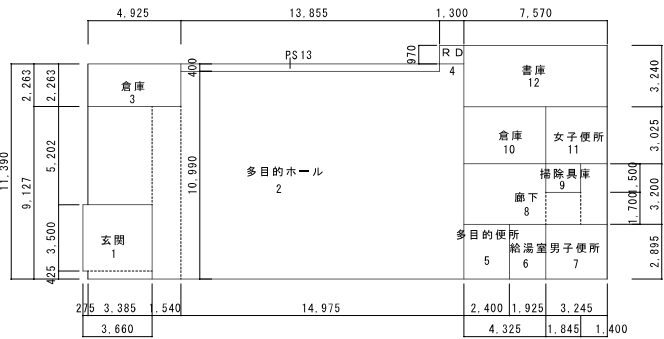
  

平均GLの算定			
FLからGLまでの面積	長さ	平均GL	設計GL
16.438	134.975	-10.218	-130
設計GL-平均GL = -190 -130 = 60			

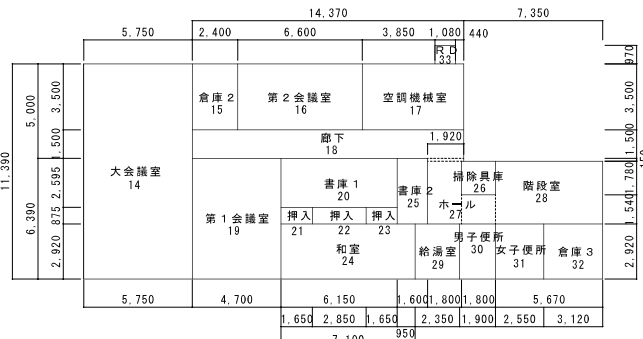
  

平均地盤面の算定			
FLからGLまでの面積	長さ	平均GL	設計GL
16.438	134.975	7.650	7.710
設計GL-平均GL = 7.710 - 7.340 = 0.370			

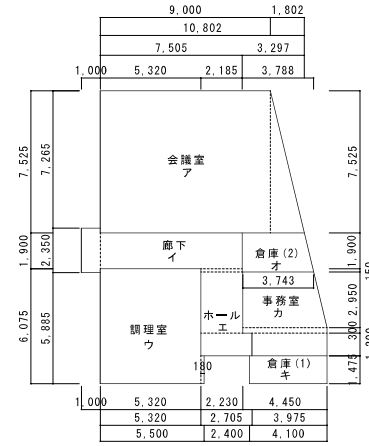
面積表			
既設1階		増築部分1階	
A	27.470 x 11.390	312.883	① 9.000 x 14.025
B	0.275 x 3.500	0.962	② 1.000 x 2.350
C	8.870 x 0.970	8.603	③ 5.500 x 1.475
小計		322.44	④ 1.100 x 1.475
既設2階			⑤ 3.000 x 12.525 / 2
D	20.120 x 11.390	229.166	⑥ 3.000 x 2.975
E	1.080 x 0.970	1.047	小計
F	7.350 x 6.240	45.864	延べ床面積
小計		276.07	c 2.400 x 1.475
延べ床面積		598.51 m <sup>2</sup>	d 8.640 x (1.506+3.400)/2
a	3.000 x 0.200	0.600	増築部分建築面積 1階床面積+c+d =
b	19.050 x 0.200	3.810	延べ床面積 既設延床面積 + 増築部分床面積
既設建築面積=1階床面積+a+b =		326.85 m <sup>2</sup>	建築面積 既設建築面積 + 増築部分床面積
敷地面積		1,088.80 m <sup>2</sup>	建ぺい率
			容積率
			70.22 %



既設1階 各室求積図 1/200



既設2階 各室求積図 1/200



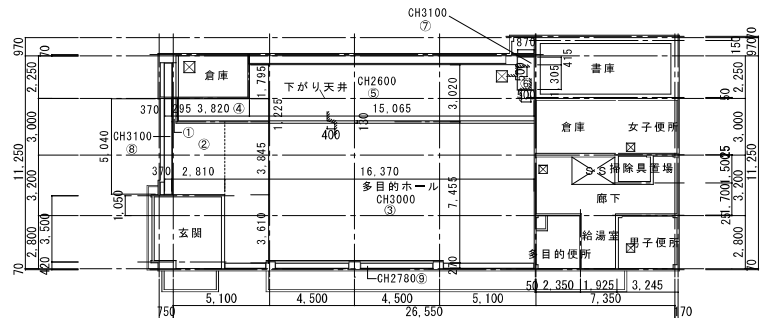
増築1階 各室求積図 1/200

階	符号	室名	式	面積(m <sup>2</sup> )	階
1	1	玄関	3.660 × 3.500	= 12.810	14.25
			3.385 × 0.425	= 1.439	
	2	多目的ホール	3.385 × 5.202	= 17.608	196.75
			1.300 × 0.400	= 0.520	
			1.540 × 9.127	= 14.055	
			14.975 × 10.990	= 164.575	
	3	倉庫	4.925 × 2.263	= 11.145	11.14
	4	RD	1.300 × 0.970	= 1.261	1.26
	5	多目的便所	2.400 × 2.895	= 6.948	6.95
	6	給湯室	1.925 × 2.895	= 5.573	5.57
	7	男子便所	3.245 × 2.895	= 9.394	9.39
	8	廊下	4.325 × 3.200	= 13.840	21.45
			1.845 × 1.700	= 3.137	
1.400 × 3.200			= 4.480		
9	掃除員庫	1.845 × 1.500	= 2.768	2.77	
10	倉庫	4.325 × 3.025	= 13.083	13.08	
11	女子便所	3.245 × 3.025	= 9.816	9.82	
12	書庫	7.570 × 3.240	= 24.527	24.53	
13	PS	13.855 × 0.400	= 5.542	5.54	

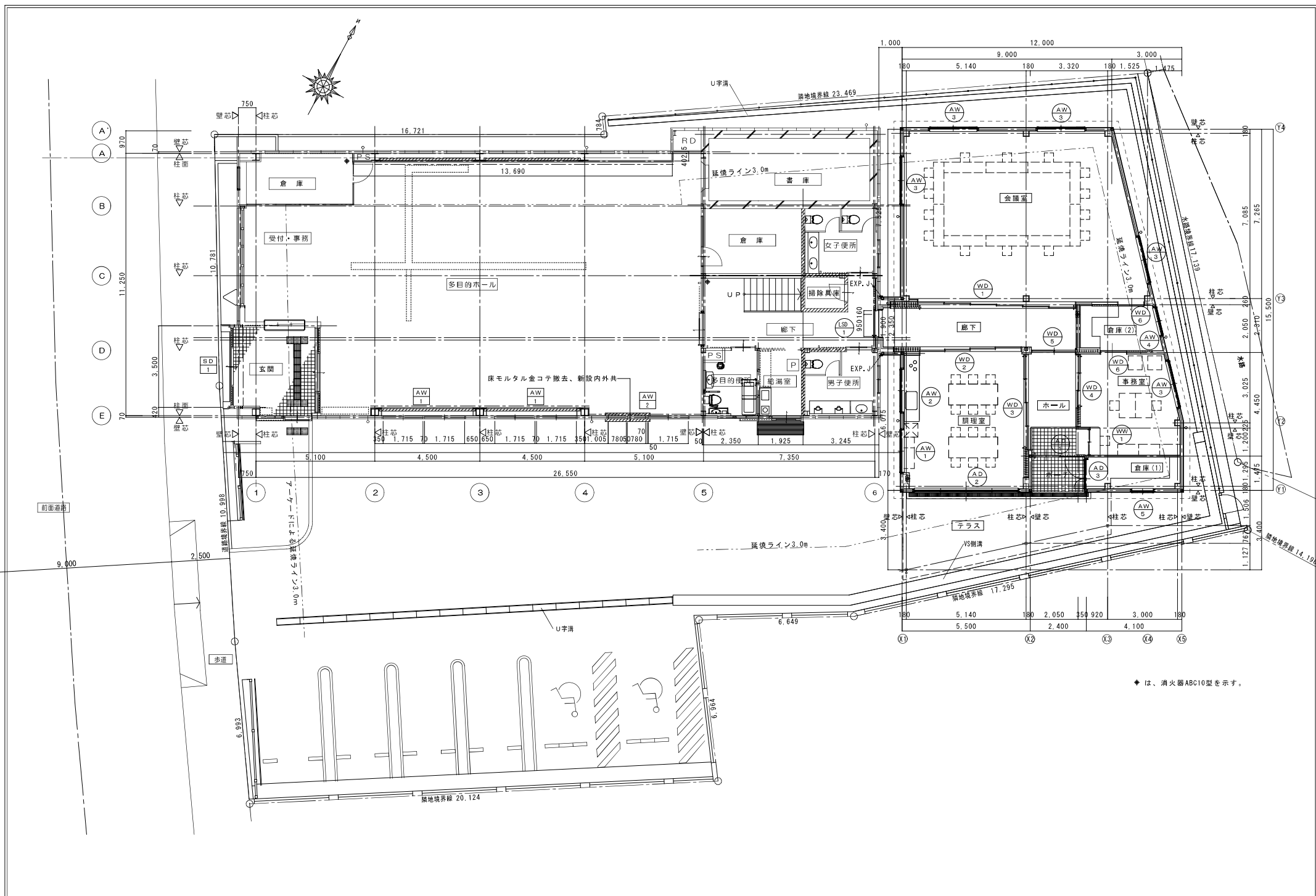
階	符号	室名	式	面積(m <sup>2</sup> )	階
2	14	大会議室	5.750 × 11.390	= 65.493	65.49
			2.400 × 3.500	= 8.400	
	15	倉庫 2	2.400 × 3.500	= 8.400	8.40
	16	第2会議室	6.600 × 3.500	= 23.100	23.10
	17	空調機械室	5.37 × 3.500	= 18.795	18.80
	18	廊下	14.370 × 1.500	= 21.555	21.84
	19	第1会議室	4.700 × 6.390	= 30.033	30.03
	20	書庫 1	6.150 × 2.595	= 15.959	15.96
	21	押入	1.650 × 0.875	= 1.444	1.44
	22	押入	2.850 × 0.875	= 2.494	2.49
	23	押入	1.650 × 0.875	= 1.444	1.44
	24	和室	7.100 × 2.920	= 20.732	20.73
	25	書庫 2	1.600 × 3.470	= 5.552	5.55
	26	掃除員庫	1.800 × 1.780	= 3.204	3.20
	27	ホール	1.800 × 3.320	= 5.976	8.75
	28	階税室	1.800 × 1.540	= 2.772	18.82
5.670 × 3.320			= 18.824		
2.350 × 2.920			= 6.862		
1.900 × 2.920			= 5.548		
2.550 × 2.920			= 7.446		
3.120 × 2.920			= 9.110		
1.080 × 0.970			= 1.048		

階	符号	室名	式	面積(m <sup>2</sup> )	階
1	ア	会議室	9.000 × 7.525	= 67.725	74.51
			1.802 × 7.525/2	= 6.780	
	イ	廊下	1.000 × 2.350	= 2.350	16.94
			7.505 × 1.900	= 14.260	
	ウ	調理室	2.185 × 0.150	= 0.328	32.59
			5.320 × 6.075	= 32.319	
	エ	ホール	0.180 × 1.475	= 0.266	10.49
			2.230 × 3.250	= 7.248	
	オ	倉庫(2)	2.705 × 1.200	= 3.246	7.26
			(3.788+3.297) × 2.050/2	= 7.262	
カ	事務室	(3.743+4.450) × 2.950/2	= 12.085	18.19	
		4.450 × 0.300	= 1.335		
キ	倉庫(1)	3.975 × 1.200	= 4.770	6.05	
		4.100 × 1.475	= 6.048		

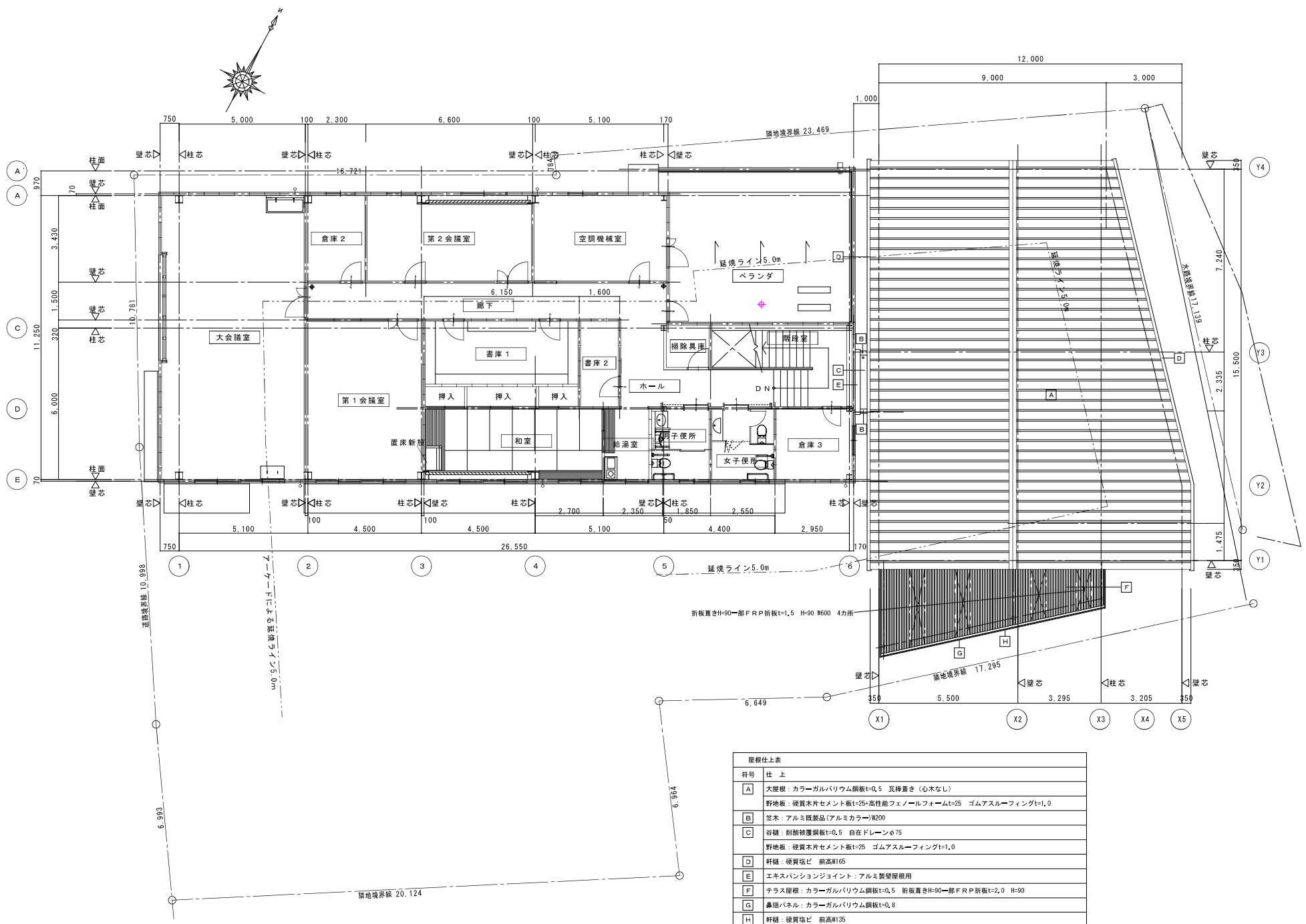
平均天井高さ表				
符号	式	面積㎡	式	気積m <sup>3</sup>
①	0.295 x 1.225	0.361		
②	2.810 x 3.845	10.804		
③	16.370 x 7.455	122.038		
CH3000面積計		133.203	133.203 x 3.000	399.609
④	3.820 x 1.225	4.680		
⑤	15.065 x 3.020 - 0.870 x 1.305	44.361		
CH2600面積計		49.041	49.041 x 2.600	127.507
⑥	0.870 x 1.305	1.135		
⑦	0.870 x 0.415	0.361		
⑧	0.370 x 5.040	1.865		
CH3100面積計		3.361	3.361 x 3.100	10.419
⑨	16.370 x 0.270	4.420		
CH2780面積計		4.420	4.420 x 2.780	12.288
面積合計		190.025	気積合計	549.823
平均天井高さ		549.823 / 190.025 = 2.893 → 2.89m		









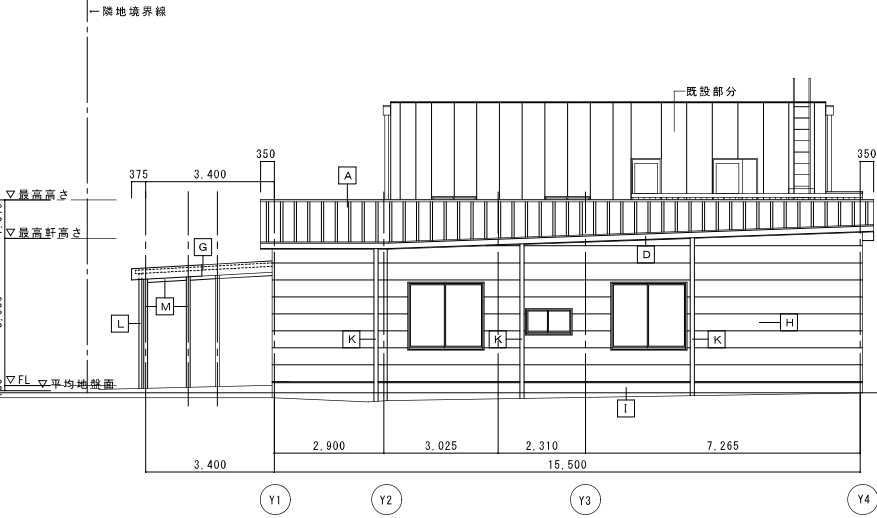


屋根仕上表	
符号	仕上
A	大屋根：カラーガルバリウム鋼板t=0.5 瓦葺き（心木なし）
	野地板：硬質木片セメント板t=25+高性能フェノールフォームt=25 ゴムアスルーフィングt=1.0
B	笠木：アルミ既製品（アルミカラー）W200
C	谷継ぎ：耐蝕被覆鋼板t=0.5 自在ドレーンφ75
D	野地板：硬質木片セメント板t=25 ゴムアスルーフィングt=1.0
E	エクスパンションジョイント：アルミ製壁屋根用
F	テラス屋根：カラーガルバリウム鋼板t=0.5 折板葺きH=90一部FRP折板t=2.0 H=90
G	鼻隠パネル：カラーガルバリウム鋼板t=0.8
H	軒継ぎ：硬質塩ビ 前高W135

◆ は、消火器ABC10型を示す。

隣地斜線  
最高高さ5.04m<20m  
→OK

隣地斜線  
最高高さ5.04m<20m  
→OK

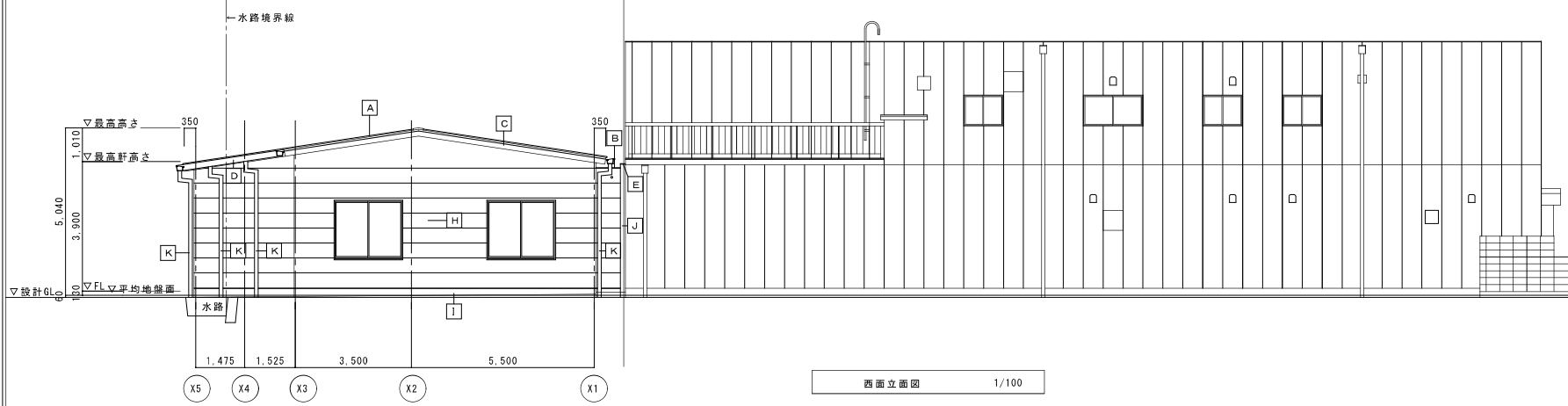


北面立面図 1/100

外部仕上表	
符号	仕上
A	大屋根：カラーガルバリウム鋼板t=0.5 瓦葺き（心木なし） 野地板：硬質木片セメント板t=25+高性能フェノールフォームt=25 ゴムスルーフィングt=1.0
B	笠 木：アルミ既製品（アルミカラー）W200
C	鼻隠 破風：屋根硬質木片セメント板t=25下地カラーガルバリウム鋼板t=0.5加工
D	軒樋：硬質塩ビ 前高W165
E	エクステンションジョイント：アルミ製壁壁用
F	ボーチ屋根：カラーガルバリウム鋼板t=0.5 折板葺きH=90一部FRP折板t=2.0 H=90
G	鼻隠パネル：カラーガルバリウム鋼板t=0.8
H	外壁：透湿防水シートの上窯業系サイディングt=16 金具留工法 土台水切り：カラーGL鋼板t=0.35
I	巾木：コンクリート打放し補修 換水性吸水防止材（ケイ酸系塗布防水）
J	エクステンションジョイント：アルミ製壁壁用
K	縦樋：硬質塩ビ管φ100着色管 つかみ金物：ステンレス製（SUS304）
L	縦樋：硬質塩ビ管φ75着色管 つかみ金物：ステンレス製（SUS304）
M	鉄骨柱、梁下地処理の上DP塗

隣地斜線  
最高高さ5.04m<20m  
→OK

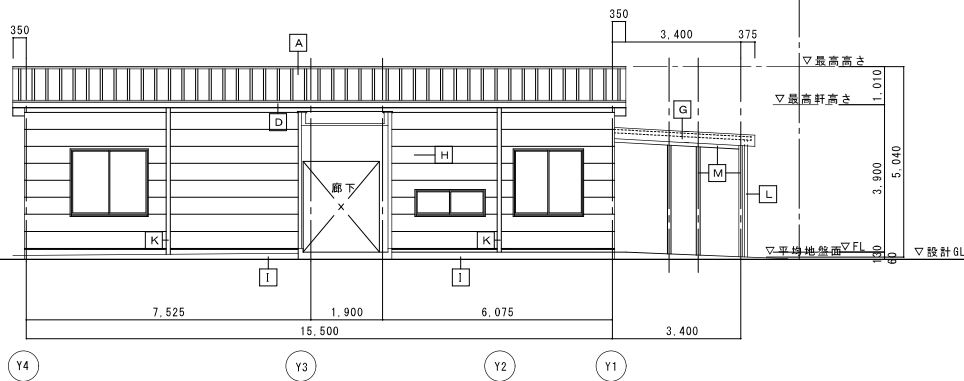
道路斜線  
最高高さ既設建物7.65m<(2.5+9.0+2.5)x1.5=21.0m  
→OK



西面立面図 1/100

隣地斜線  
最高高さ5.04m<31m  
→OK  
—隣地境界線

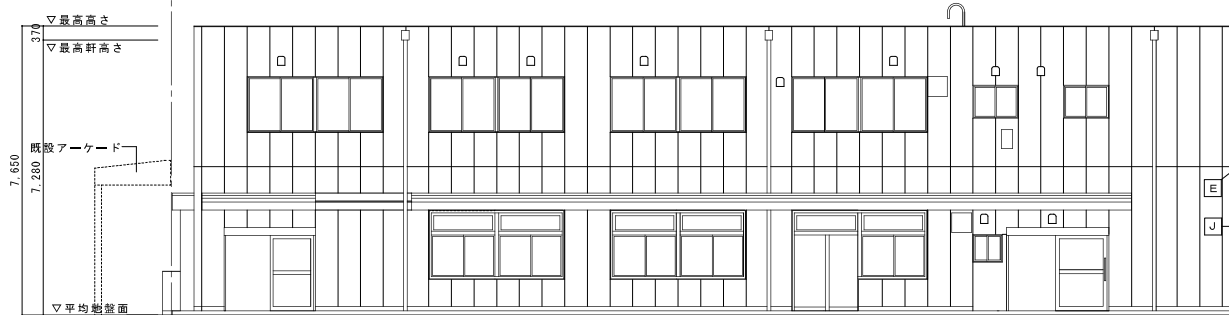
隣地斜線  
最高高さ5.04m<31m  
→OK  
—隣地境界線



南面立面図 1/100

外部仕上表	
A	大屋根：カラーガルバリウム鋼板t=0.5 瓦葺き（心木なし）
B	野地板：硬質木片セメント板t=25+高性能フェノールフォームt=25 ゴムアスルーフィングt=1.0
C	笠 木：アルミ既製品（アルミカラー）W200
D	エクステリアポイント：アルミ製屋根用
E	エクステリアポイント：アルミ製壁用
F	軒樋：硬質塩ビ 前高W165
G	縦樋：硬質塩ビ管φ100着色管 つかみ金物：ステンレス製（SUS304）
H	外壁：透湿防水シートの上窯業系サイディングt=16 金具留工法 土台水切り：カラー6L鋼板t=0.35
I	巾木：コンクリート打放し補修 撥水性吸水防止材（ケイ酸系塗布防水）
J	ポーチ屋根：カラーガルバリウム鋼板t=0.5 折板基きH=90一部FRP折板t=2.0 H=90
K	鼻隠パネル：カラーガルバリウム鋼板t=0.8
L	縦樋：硬質塩ビ管φ75着色管 つかみ金物：ステンレス製（SUS304）
M	鉄骨柱、梁下地処理の上DP塗

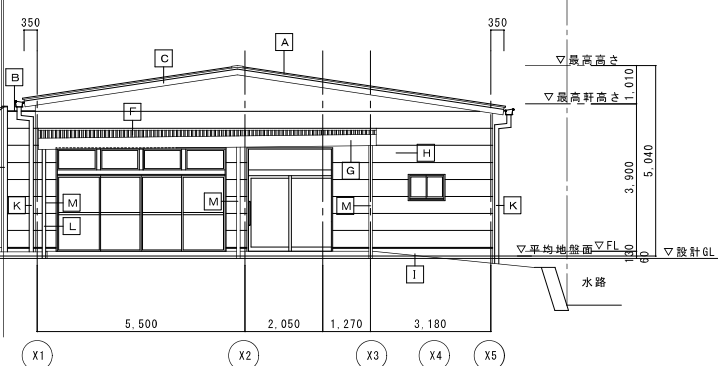
道路斜線  
最高高さ既設建物7.65m<(2.5+9.0+2.5)x1.5=21.0m  
→OK  
歩道2.5m道路9.0m歩道2.5m  
—道路境界線

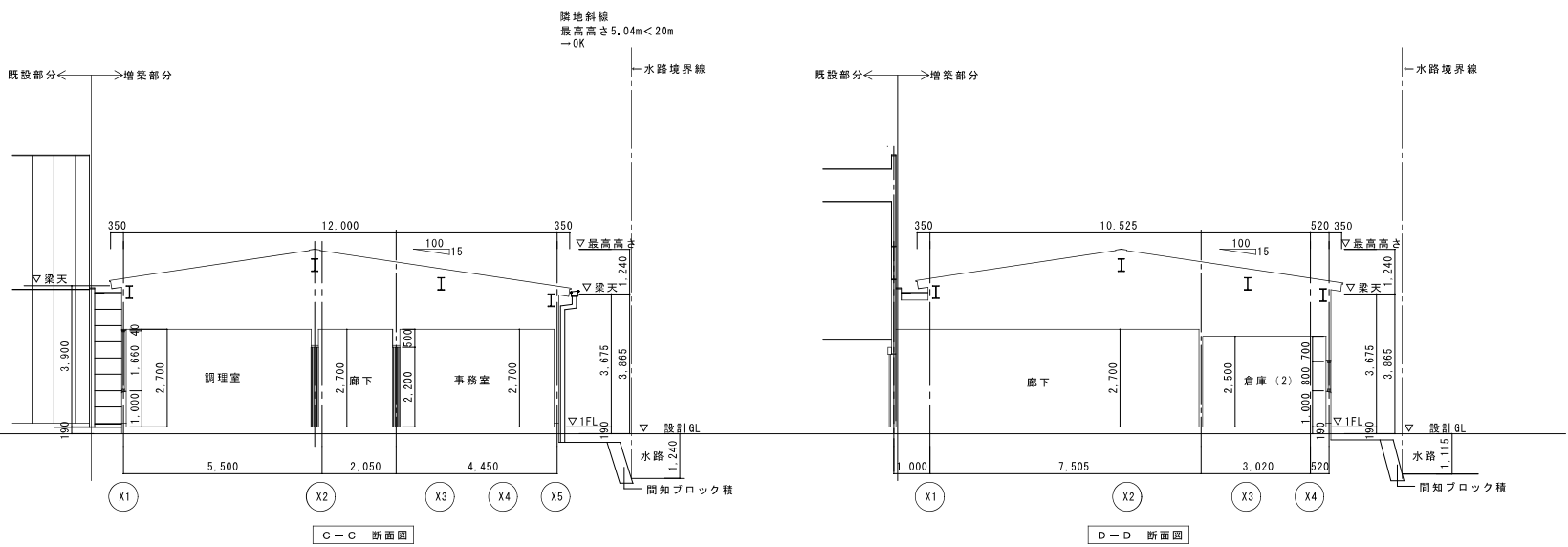
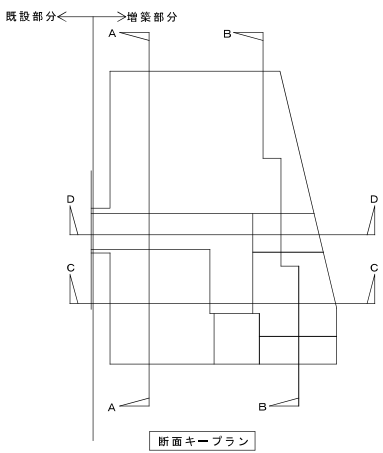
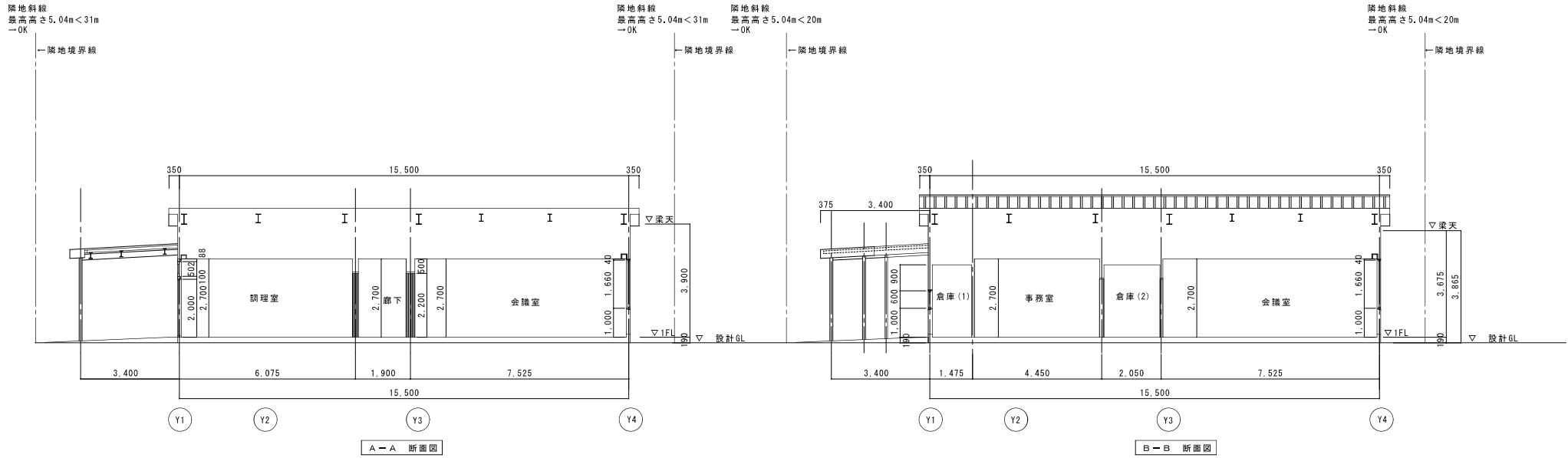


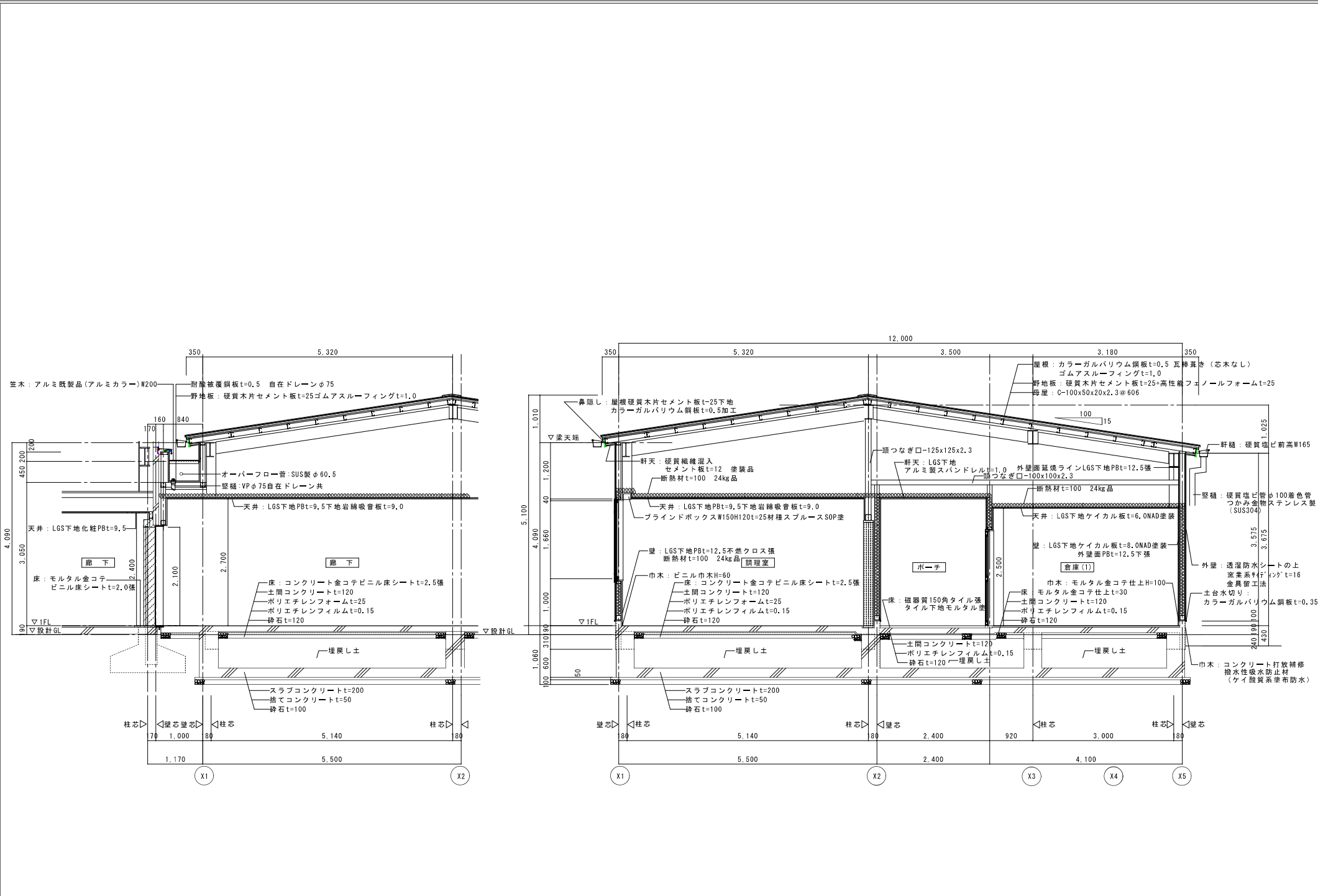
東面立面図 1/100

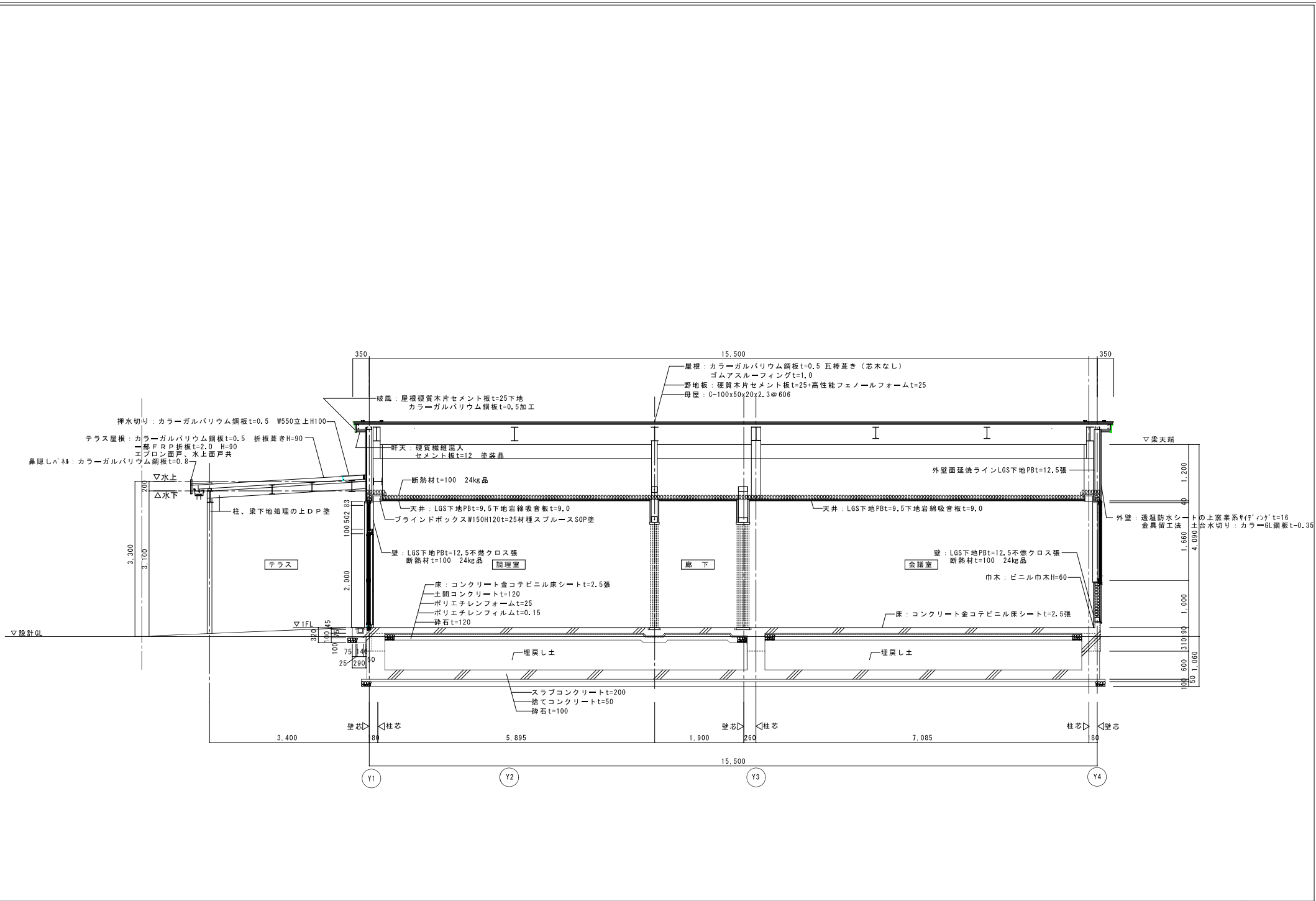
既設部分 ← → 増築部分

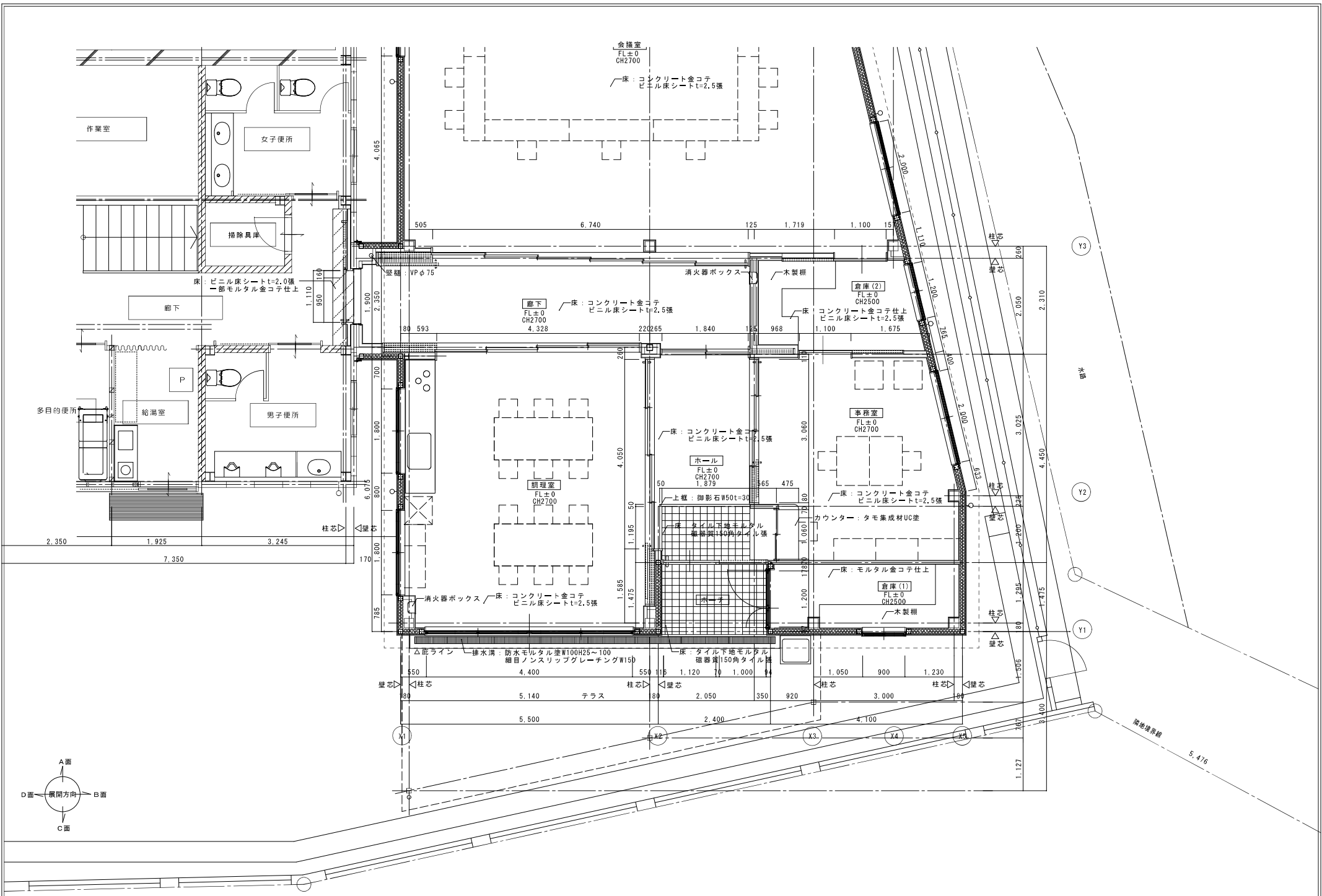
隣地斜線  
最高高さ5.04m<20m  
→OK  
—水路境界線

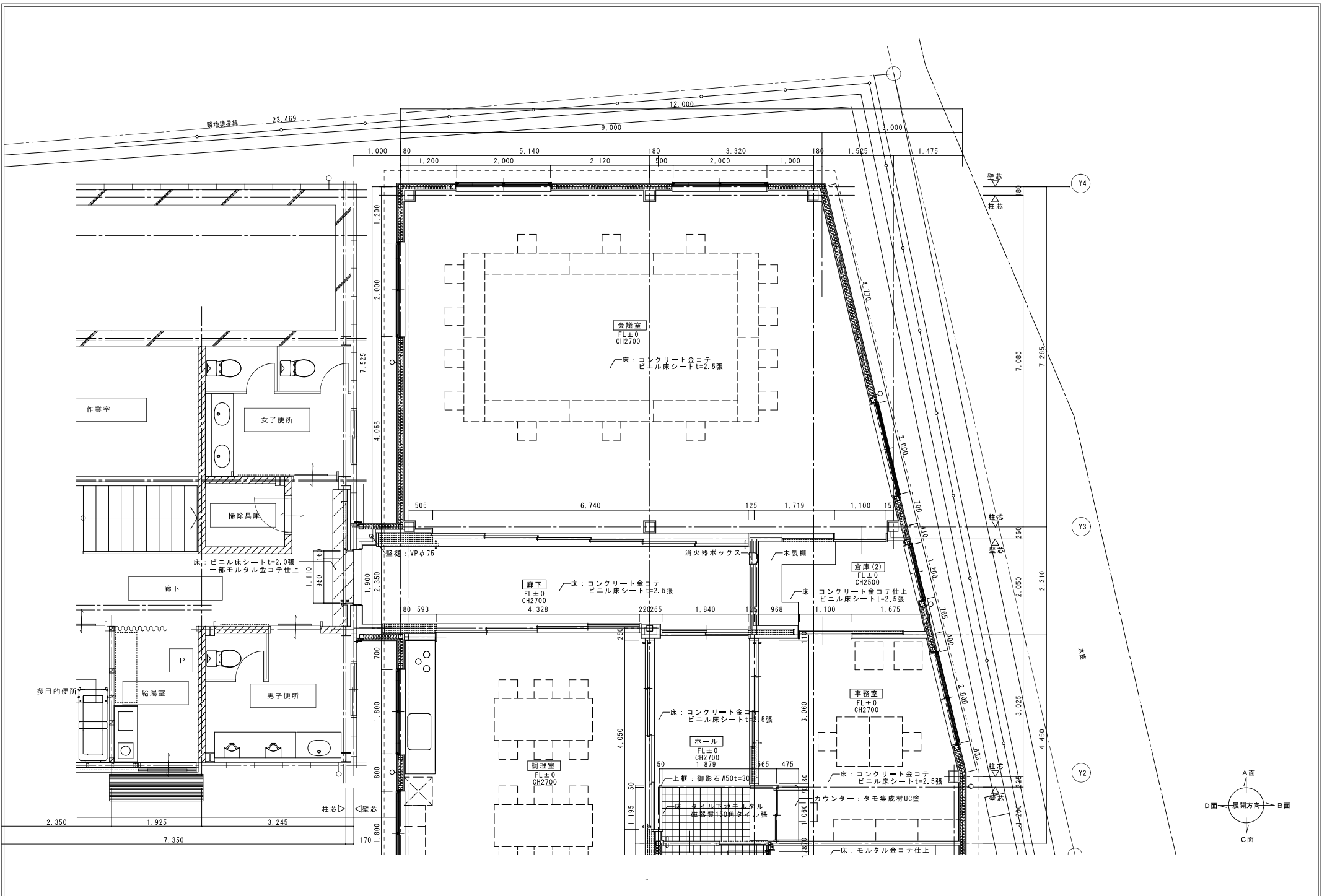












工事名称 城東地区コミュニティセンター建設等工事

図面名称 平面詳細図(2)

縮尺 A2: 1/50  
A3: 1/71

日付 R5.1

訂正

担当

承認

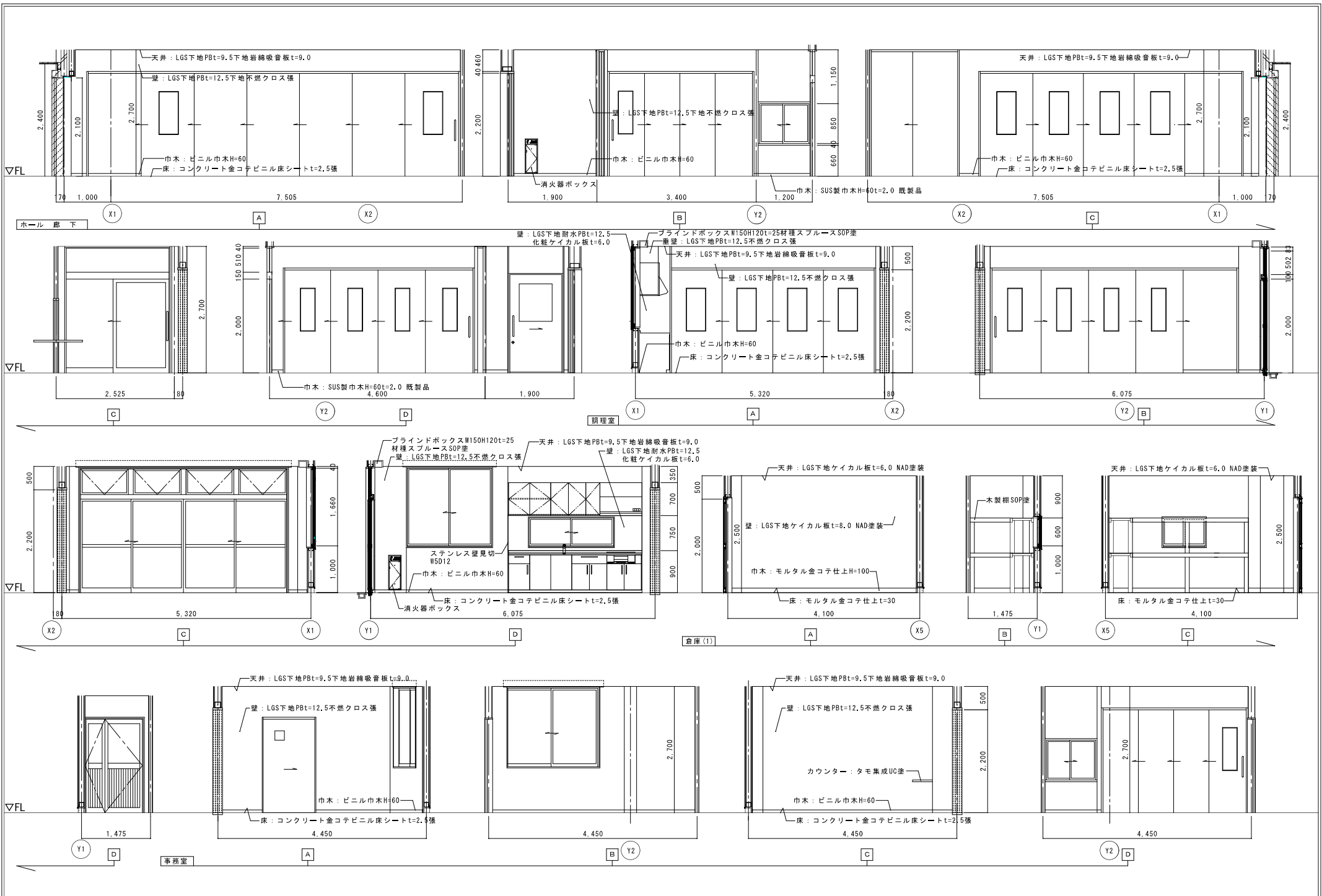
備考

藤川設計株式会社

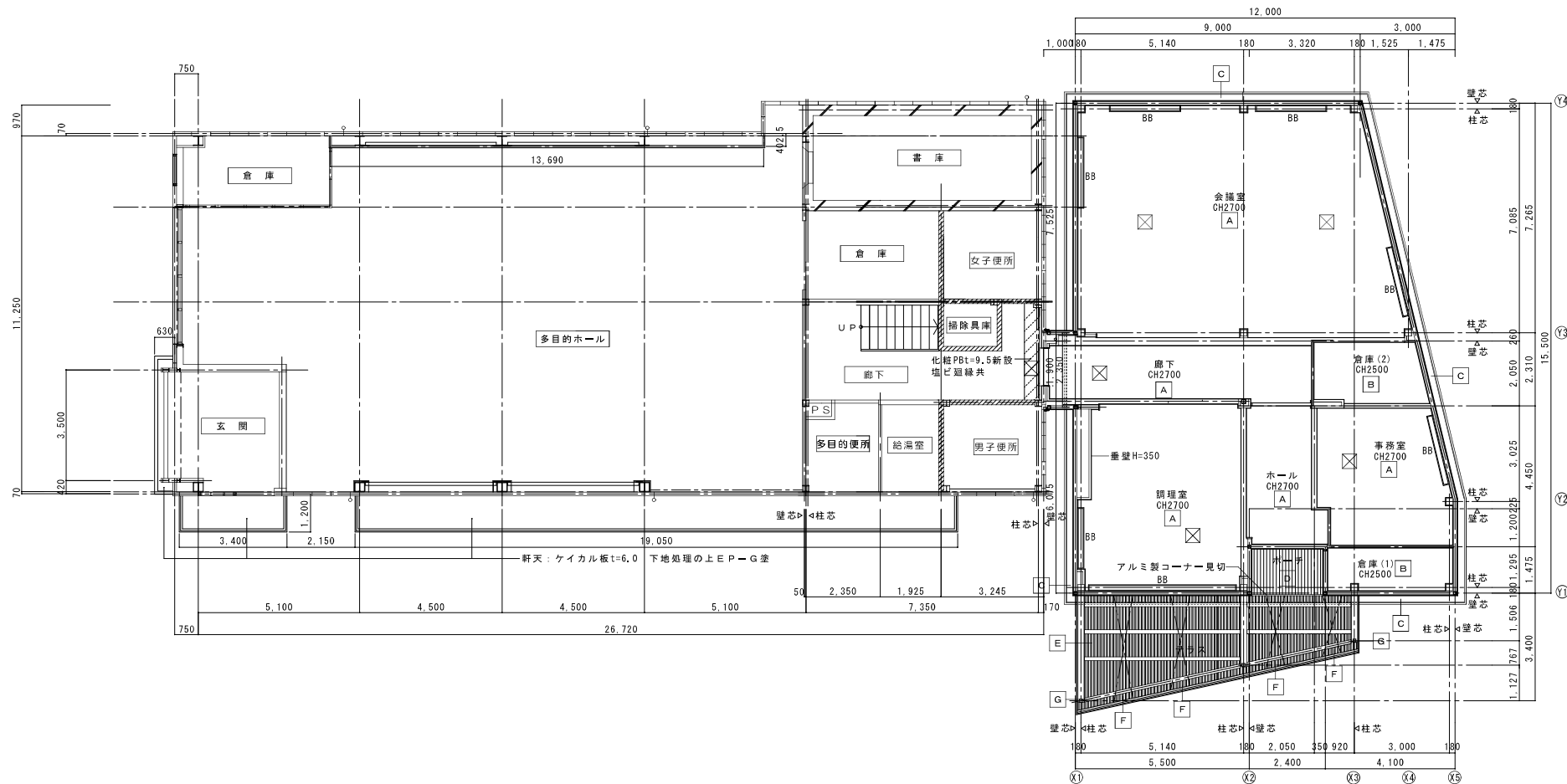
一級建築士登録 222551  
田中 富士夫

A-19







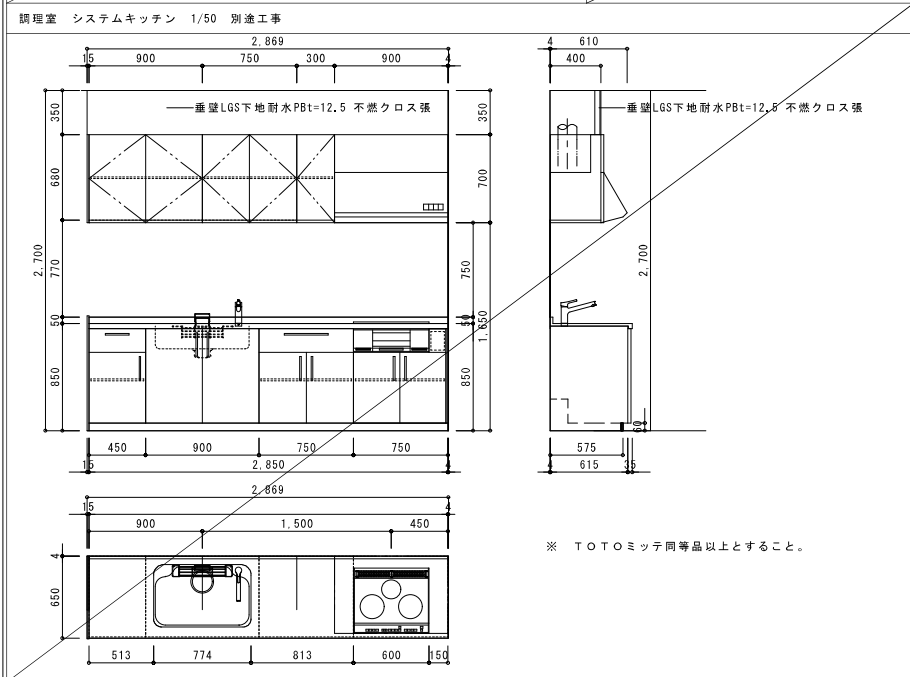


仕上表	
A	LGS下地 PBT=9.5下張岩綿吸音板t=9.0
B	LGS下地 ケイカル板t=6NAD塗装
C	LGS下地 硬質繊維混入セメント板t=12 塗膜品
D	LGS下地 アルミスパンドレル t=1.0
E	カラーガルバリウム鋼板t=0.5折板葺きH=90
F	F R P 折板 t=2.0 H=90
G	柱、梁鉄部 D P 塗
BB	ブラインドボックスW150H120t=25材種スプルー S O P 塗
⊗	アルミ製天井点検口450角

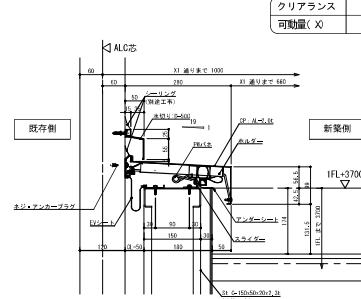
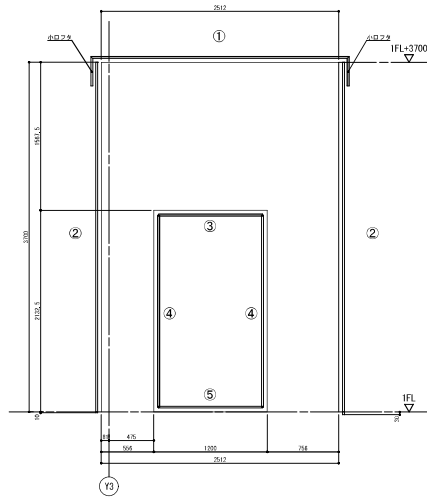
符号・室名・数量	(A.D.1) ホール 1	(A.D.2) 調理室 1	(A.D.3) 倉庫(1) 1	(A.W.1) 調理室 1	(A.W.2) 調理室 1	(A.W.3) 会議室 事務室 5
案 図						
種別方式・見込	ランマF1X付き片引戸 100	ランマ外側窓付4枚引違戸 70	アルミ製親子開扉ドア 70	引違窓 70	引違窓 70	引違窓(防火設備) 70
硝子	強化ガラス t=5.0	強化ガラス t=5.0	網入型ガラス t=6.8 下部アルミパネル t=2.0	強化ガラス t=5.0	型ガラス t=4.0	網入り型ガラス t=6.8
仕上	アルミシャイングレー	アルミシャイングレー	アルミシャイングレー	アルミシャイングレー	アルミシャイングレー	アルミシャイングレー
金物	シリンダー錠、SUS製引き棒、自閉装置、その他一式	クレセント、戸車、オペレーター装置、その他一式	レバーハンドル、SUS製丁番 フランソ落とし、その他一式	クレセント、戸車、その他一式	クレセント、戸車、その他一式	クレセント、戸車、その他一式
備考	アルミ顔縁、衝突防止シール	アルミ顔縁、フラットレール、クレセント高さH=1500、ポリエステル網戸 衝突防止シール	アルミ顔縁、SUS製窓棧 t=1.2	アルミ顔縁、クレセント高さH=1500 ポリエステル網戸	アルミ顔縁 ポリエステル網戸	アルミ顔縁、クレセント高さH=1500 ポリエステル網戸
符号・室名・数量	(A.W.4) 倉庫(2) 1	(A.W.5) 倉庫(1) 1	(LSD.1) 廊下 1	(A.W.1) 廊下 1	(A.W.2) 廊下 1	(A.W.3) 廊下 1
案 図						
種別方式・見込	引違窓(防火設備) 70	引違窓(防火設備) 70	引渡し160	6枚引込戸 40		
硝子	網入り型ガラス t=6.8	網入り型ガラス t=6.8	軽量鋼製引きハンガー戸新設	樹脂型ガラス t=2.0		
仕上	アルミシャイングレー	アルミシャイングレー	化粧鋼板 t=0.6 焼付塗装	ポリ合板フラッシュ		
金物	クレセント、戸車、その他一式	クレセント、戸車、その他一式	シリンダー錠 自閉ストッパー付 標準金物一式	SUS製バー取手、シリンダー錠、アルミ製Yレール、回転取手、戸車、連動金物、その他一式		
備考	アングルピース、クレセント高さH=1500 ポリエステル網戸	アングルピース、クレセント高さH=1500 ポリエステル網戸	SUS製引き棒H=400	建具枠：米ツガ 敷居290x40、たて枠290x35、鴨居290x40 UC塗		
符号・室名・数量	(A.W.2) 廊下 1	(A.W.3) 調理室 1	(A.W.4) 廊下 1	(A.W.5) 廊下 1	(A.W.6) 廊下 1	(A.W.7) 廊下 1
案 図						
種別方式・見込	4枚引込戸 40	4枚引込戸 40	4枚引込戸 40	2枚引込戸 40		
硝子	樹脂型ガラス t=2.0	樹脂型ガラス t=2.0	樹脂型ガラス t=2.0	樹脂型ガラス t=2.0		
仕上	ポリ合板フラッシュ	ポリ合板フラッシュ	ポリ合板フラッシュ	ポリ合板フラッシュ		
金物	シリンダー錠、アルミ製Yレール、回転取手、戸車、連動金物 その他一式	SUS製バー取手、シリンダー錠、アルミ製Yレール、回転取手、戸車、連動金物 その他一式	SUS製バー取手、シリンダー錠、アルミ製Yレール、回転取手、戸車、連動金物、その他一式	シリンダー錠、アルミ製Yレール、回転取手、戸車、連動金物、その他一式		
備考	建具枠：米ツガ 敷居210x40、たて枠210x35、鴨居210x40 UC塗	建具枠：米ツガ 敷居210x40、たて枠210x35、鴨居210x40 UC塗	建具枠：米ツガ 敷居210x40、たて枠210x35、鴨居210x40 UC塗	建具枠：米ツガ 敷居120x40、たて枠2500x35、鴨居120x40 UC塗		
工事名称	城東地区コミュニティセンター建設等工事		図面名称	建具表(1)		
★			縮尺	A2: 1/50 A3: 1/71	日付	R5.1
★			訂正		担当	
★			承認		備考	
★			藤川設計株式会社	一級建築士登録 222551	田中 富士夫	A-23

符号・室名・数量	倉庫(2)	2	事務室	1	オーバーフロー管詳細図 1/10	1カ所
姿図						
種別方式・見込	片引戸	40	引違窓	40		
硝子	樹脂型ガラスt=2.0 200角		強化ガラス t=4.0			
仕上	ポリ合板フラッシュ		米ツガ UC塗			
金物	シリンダー錠、上吊金物、アルミ製取付レール、取手、戸車、その他一式		アルミ製Vレール、窓込取手、戸車、その他一式			
備考	建具枠：米ツガたて枠185x25、鴨居185x40 UC塗		建具枠：米ツガたて枠、鴨居110x35 UC塗			

倉庫(1) 木製棚 1/50 別途工事	1カ所	倉庫(2) 木製棚 1/50 別途工事	1カ所	ホールカウンター 1/50	1カ所	消火器ボックス 1/20	2カ所
<p>材種：米ツガ 仕上：SOP塗</p>		<p>材種：米ツガ 仕上：SOP塗</p>					

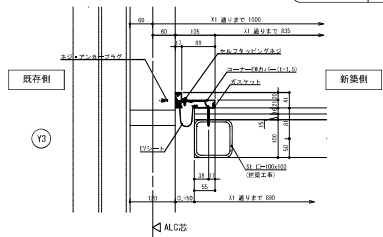


特記仕様  
 共通  
 1. 一般社団法人 日本発泡機油協会 (J S S I) 「発泡エキスパンションジョイントガイドライン」の発泡機油種に準じ、密着剤塗布により漏洩しないことを確認した材料を使用する。  
 2. 屋根Eva.J.C. は動風圧試験装置による一定の条件下における加圧試験で400Paにおいて脱落がないことを確認した製品とする。  
 3. 屋根Eva.J.C. の詳細可動フタはアングルアクセス機構とし、Y方向の可動量にも追従できる仕様とする。  
 4. 水平面の耐火扉はスライド機構を設けてY方向の可動量にも追従できる仕様とする。



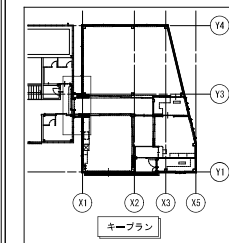
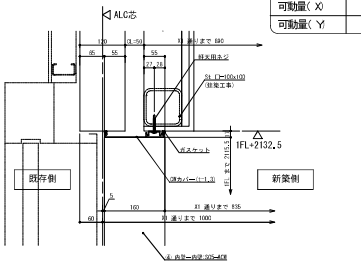
② 外壁コーナー (アルミ材)

クリアランス 50mm  
 可動量(X) 33mm  
 可動量(Y) 33mm



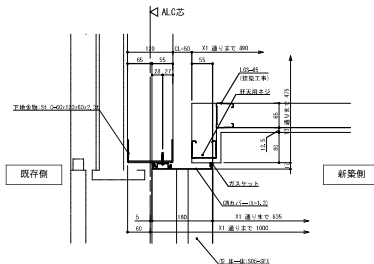
③ 天井-天井 (アルミ材)

クリアランス 50mm  
 可動量(X) 50mm  
 可動量(Y) 20mm



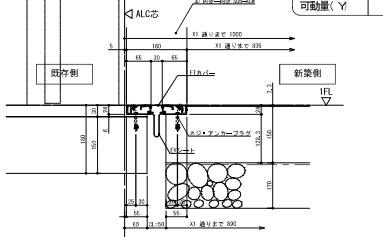
④ 内壁-内壁 (アルミ材)

クリアランス 50mm  
 可動量(X) 50mm  
 可動量(Y) 25mm

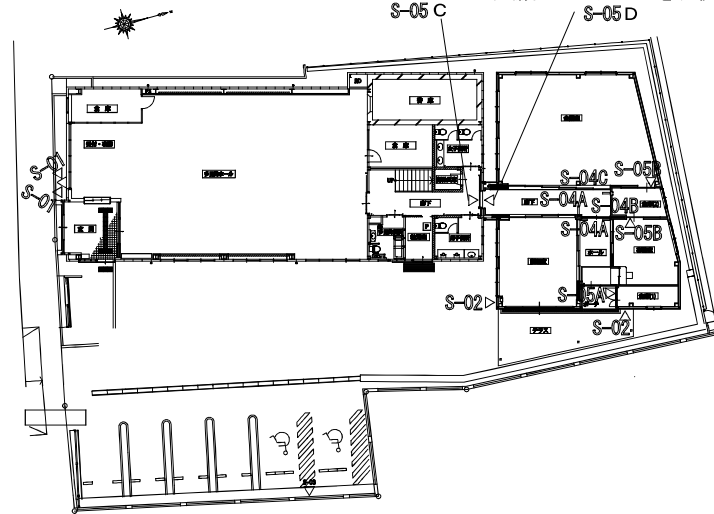


⑤ 床-床 (SUS材)

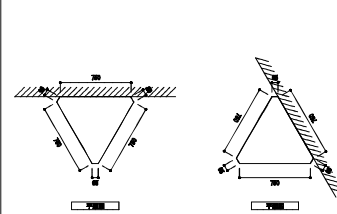
クリアランス 50mm  
 可動量(X) +41mm -23mm  
 可動量(Y) 20mm



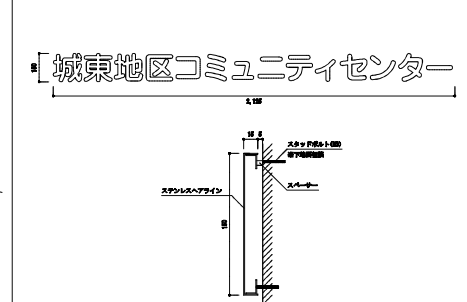
塩ビシート S-05C 城東地区コミュニティセンター  
 城東地区コミュニティセンターにトイレはありません。  
 トイレは、協働センターのものをお使いください。  
 S-05D 市民協働センターみらい  
 城東地区コミュニティセンターにトイレはありません。  
 トイレは、協働センターのものをお使い下さい。



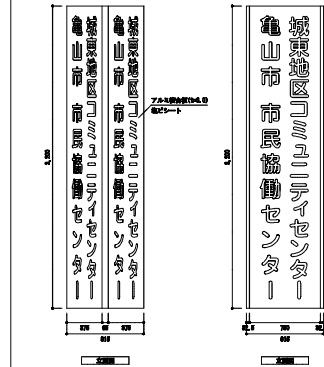
S-01 直立サイン (1カ所×2面)



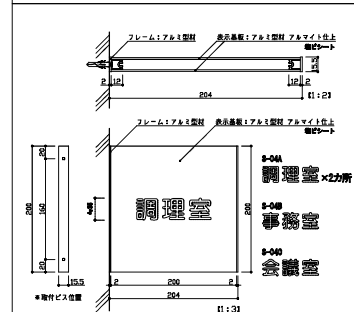
S-02 ステンレスヘアライン縦文字サイン (2カ所)



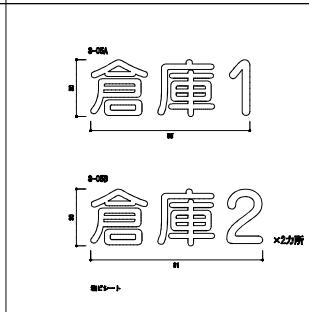
S-03 おもいやり駐車サイン (1カ所)

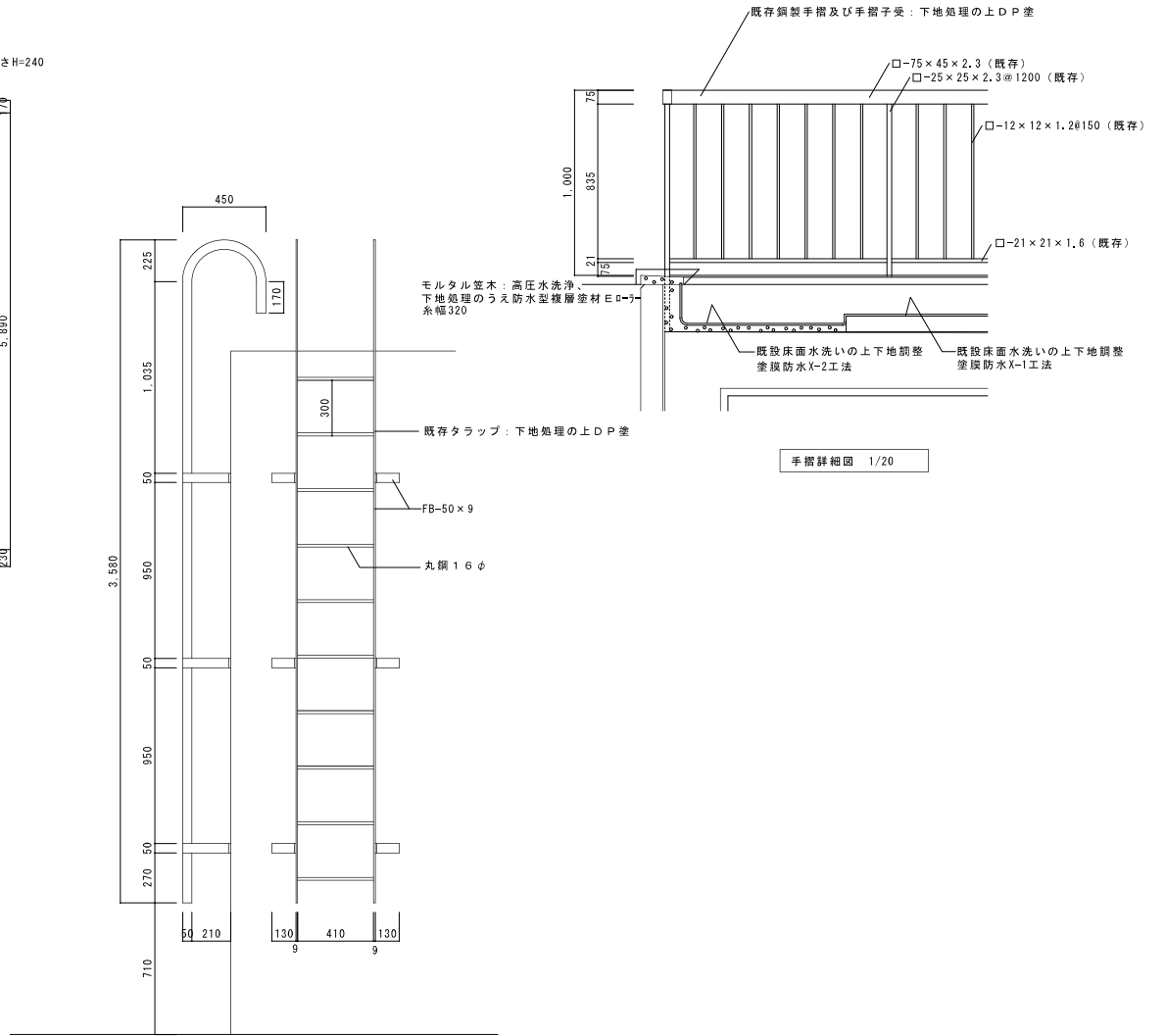
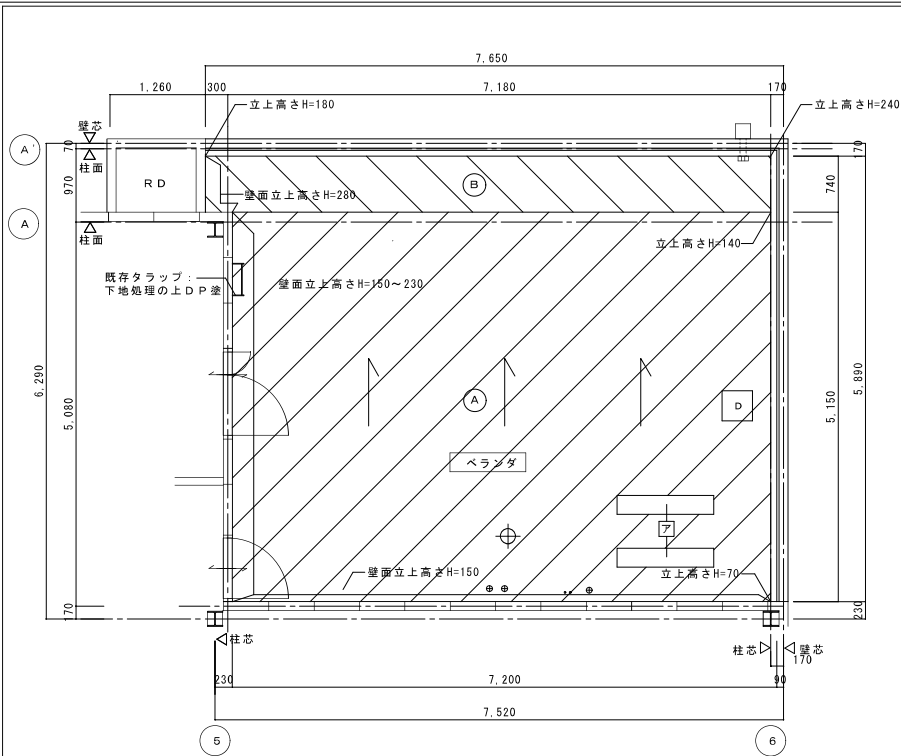


S-04 窓格突出しサイン (4カ所)



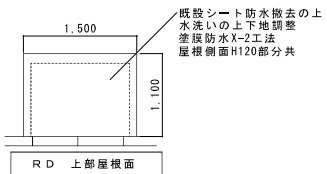
S-05 窓格シートサイン (3カ所)





手摺詳細図 1/20

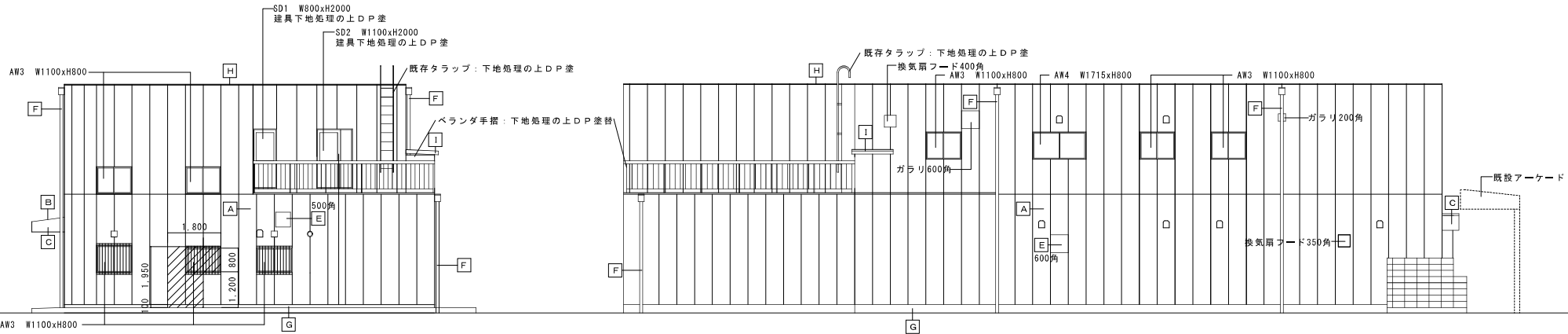
タラップ詳細図 1/20



凡 例	
ア	基礎 W1280xD250xH200 2カ所 既設床面水洗いの上下地調整塗膜防水X-2工法
中	SUS製脱気筒 φ80新設 1箇所
=	改修用コーティングφ80撤去新設 1箇所
⊕	配管立上φ80 4カ所 X-2 立上
・	配管立上φ25 2カ所 X-2 立上
△	既設床面水洗いの上下地調整塗膜防水X-1工法
⊙	既設床面水洗いの上下地調整塗膜防水X-2工法
高圧洗浄10~15MPa程度とする。	
下地調整材は、エポキシ系ポリマーセメントノロ引きとする。	

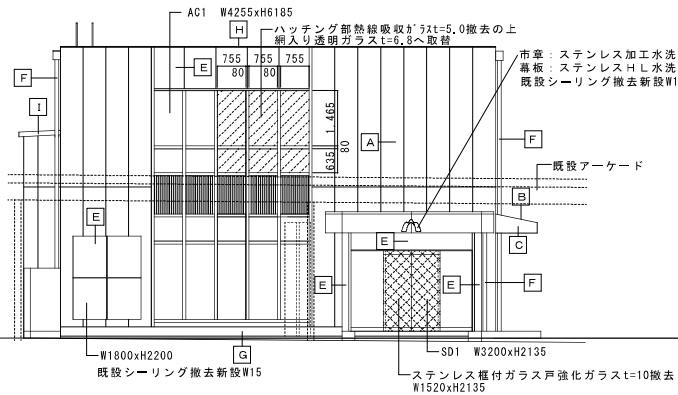




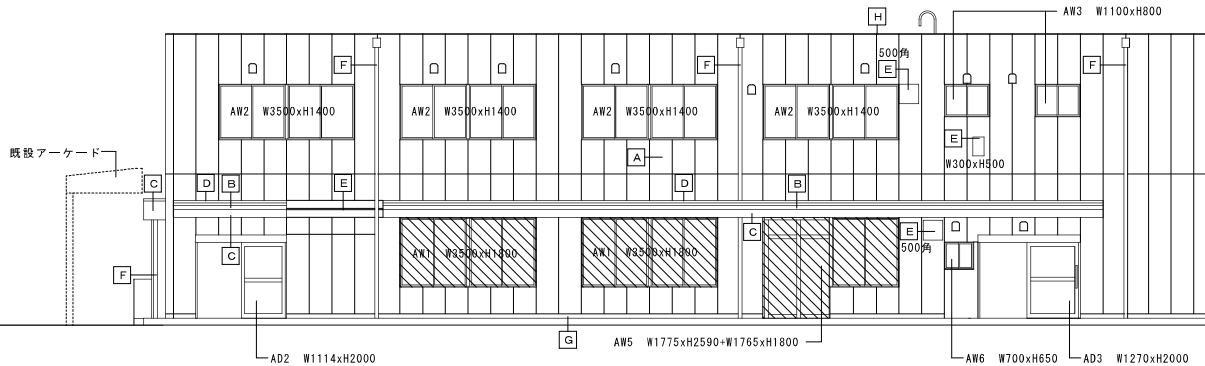


北面立面図 1/100

西面立面図 1/100



南面立面図 1/100

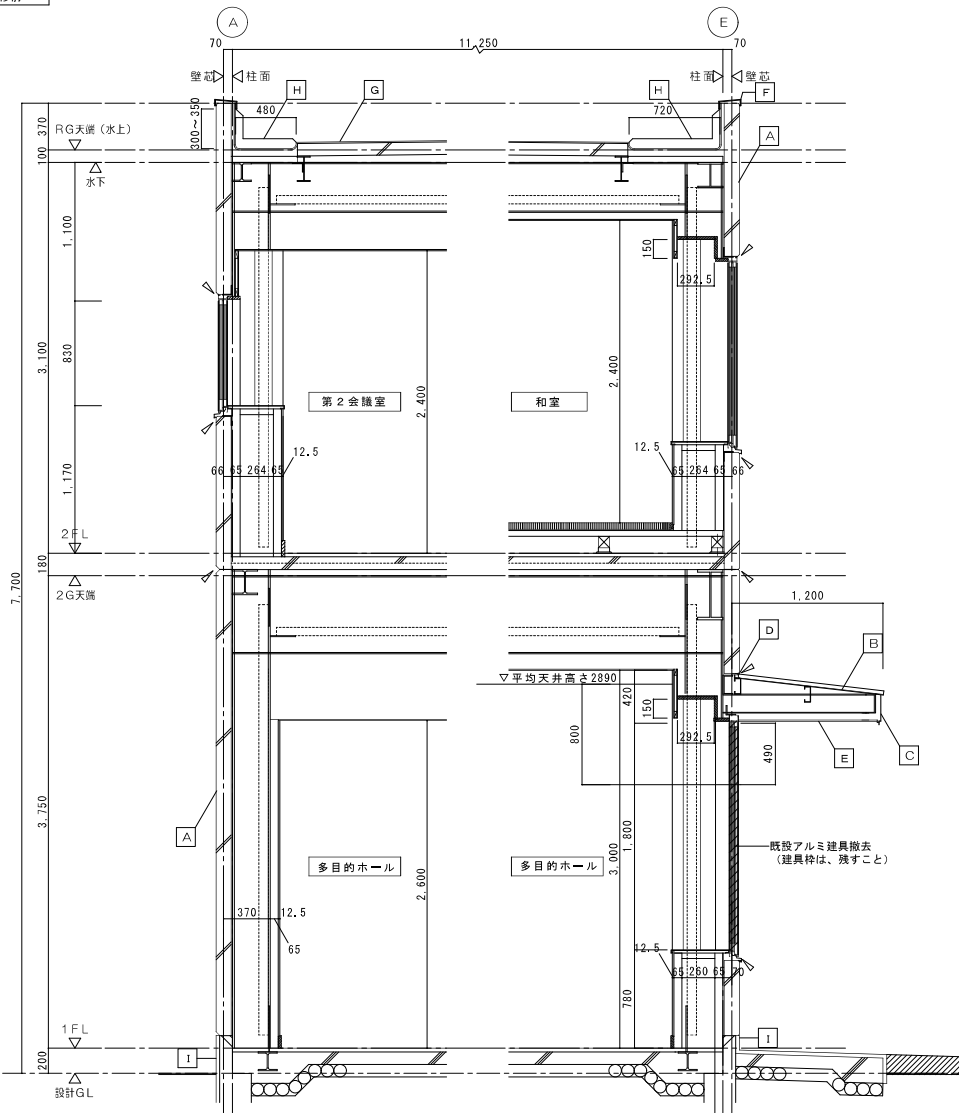


東面立面図 1/100

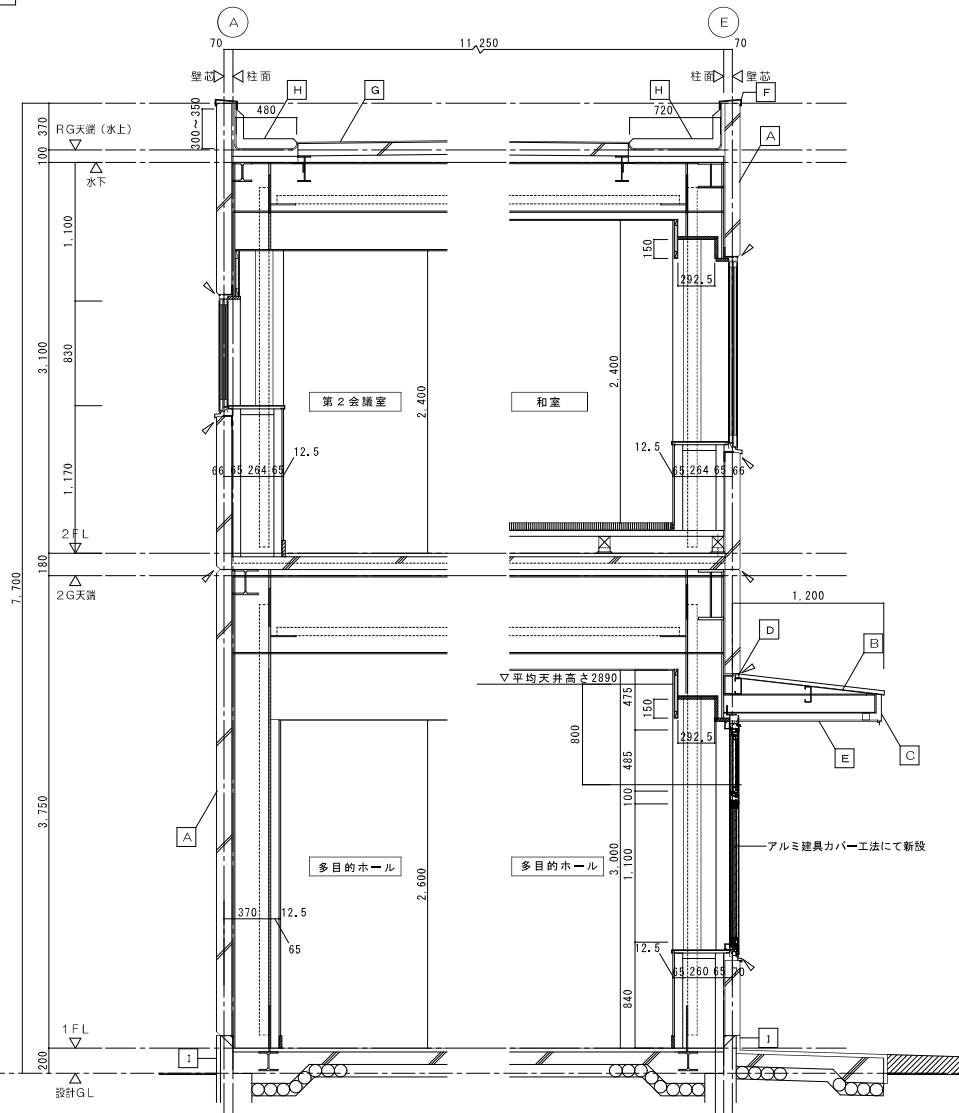
外部仕上表	
A	外壁：高圧水洗浄、下地処理のうえ防水型複層塗材Eローラー
B	庇屋根：塩ビカラー鋼板t=0.4高圧洗浄、下地処理の上DP塗
C	幕板：塩ビカラー鋼板t=0.4高圧洗浄、下地処理の上DP塗
D	水切：塩ビカラー鋼板t=0.4高圧洗浄、下地処理の上DP塗
E	既設鋼板：ボンデ鋼板t=1.6高圧洗浄、下地処理の上DP塗
F	タテ樋・篩マス：塩ビ製の75既設高圧洗浄 下地処理の上NAD塗
G	巾木：モルタル金コテ高圧洗浄
H	笠木：スチール製高圧洗浄下地処理の上DP塗 ジョイント部シーリング撤去新設共
I	屋根：既設シート防水撤去の上高圧洗浄下地処理の上 塗膜防水X-2工法 見付共
	ハッチング部、基礎、ALC板t=120、アルミ建具撤去を示す。
	ハッチング部、アルミ建具撤去を示す。 (建具枠は、残すこと)
	ハッチング部サードガラスt=5.0撤去の上 網入り透明ガラスt=6.8へ取替W1715xH1400 2カ所
	ハッチング部、ステンレス権付ガラス戸強化ガラスt=10撤去

※ 既設シーリング撤去、新設すること。

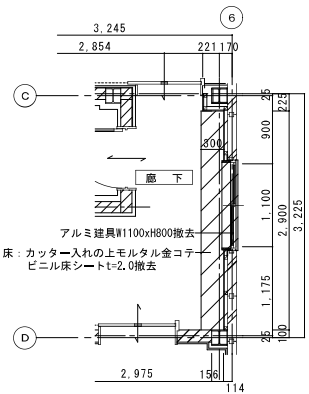
改修前



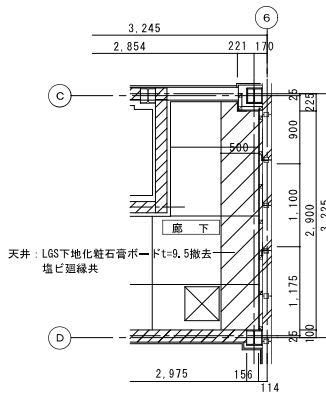
改修後



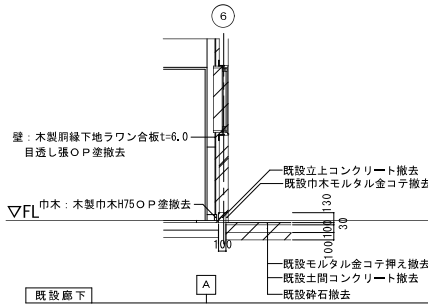
外部仕上表	
A	外壁：高圧水洗浄、下地処理のうえ防水型複層塗材Eローラー
B	庇屋根：塩ビカラー鋼板t=0.4高圧洗浄、下地処理の上DP塗
C	幕板：塩ビカラー鋼板t=0.4高圧洗浄、下地処理の上DP塗
D	水切：塩ビカラー鋼板t=0.4高圧洗浄、下地処理の上DP塗
E	軒天：ケイカル板t=6.0 下地処理の上EP-G塗
F	笠木：スチール製高圧洗浄下地処理の上DP塗 ジョイント部シーリング撤去共
G	屋根：既設塗膜防水一部撤去の上高圧洗浄下地処理の上塗膜防水X-1工法
H	屋根：既設塗膜防水、高圧洗浄下地処理の上塗膜防水X-2工法
I	巾木：モルタル金コテ高圧洗浄
✓	は、シーリング撤去、新設位置を示す。



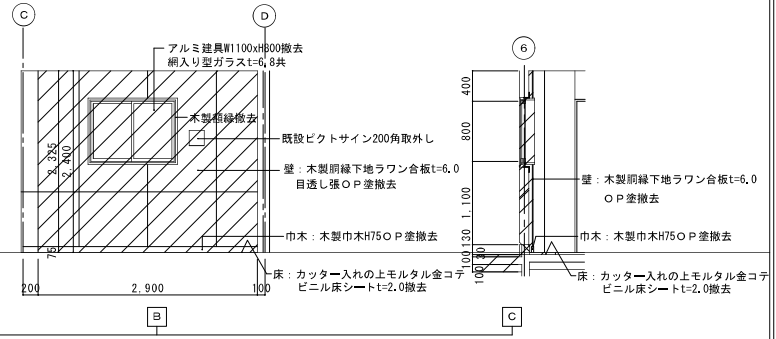
既設廊下平面詳細図 1/50



既設廊下天井伏図 1/50

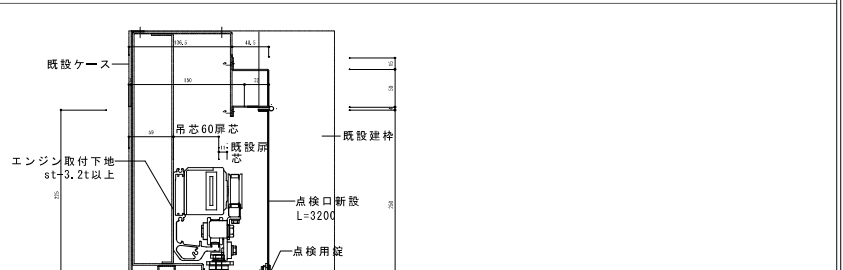
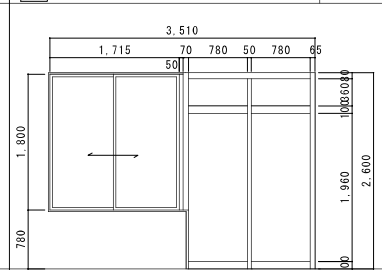
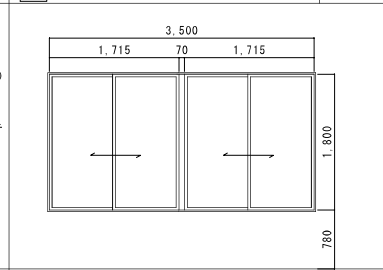
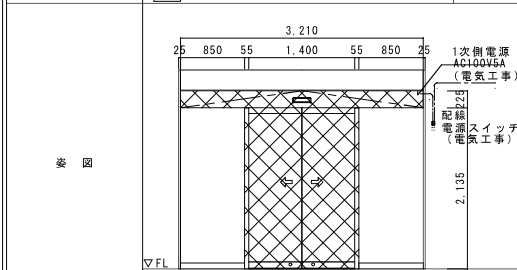


既設廊下



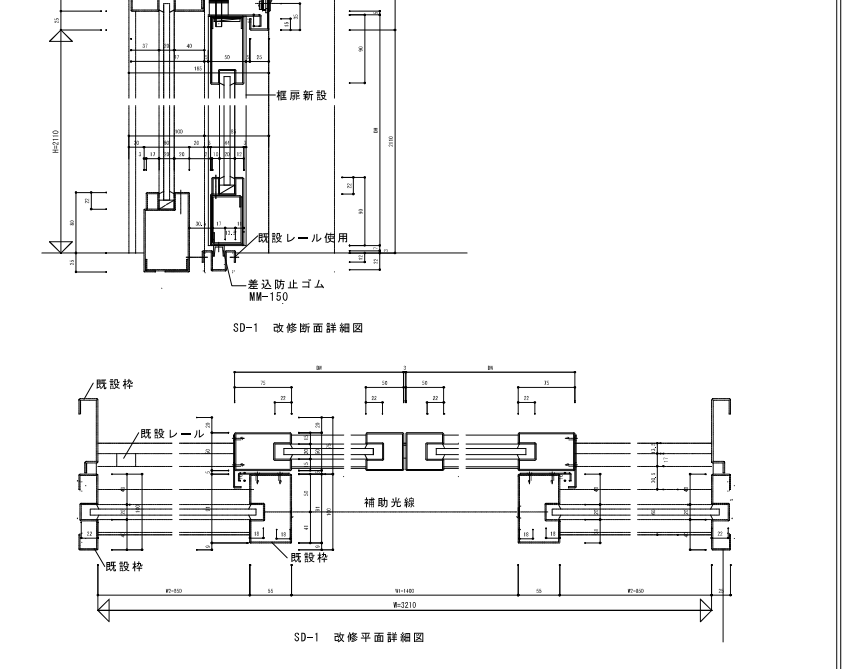
既設廊下

符号・室名・数量	S.D 1	既設玄関	1	A.W 1	既設多目的ホール	2	A.W 2	既設多目的ホール	1	SD-1 改修改修詳細図 1/10
----------	----------	------	---	----------	----------	---	----------	----------	---	-------------------

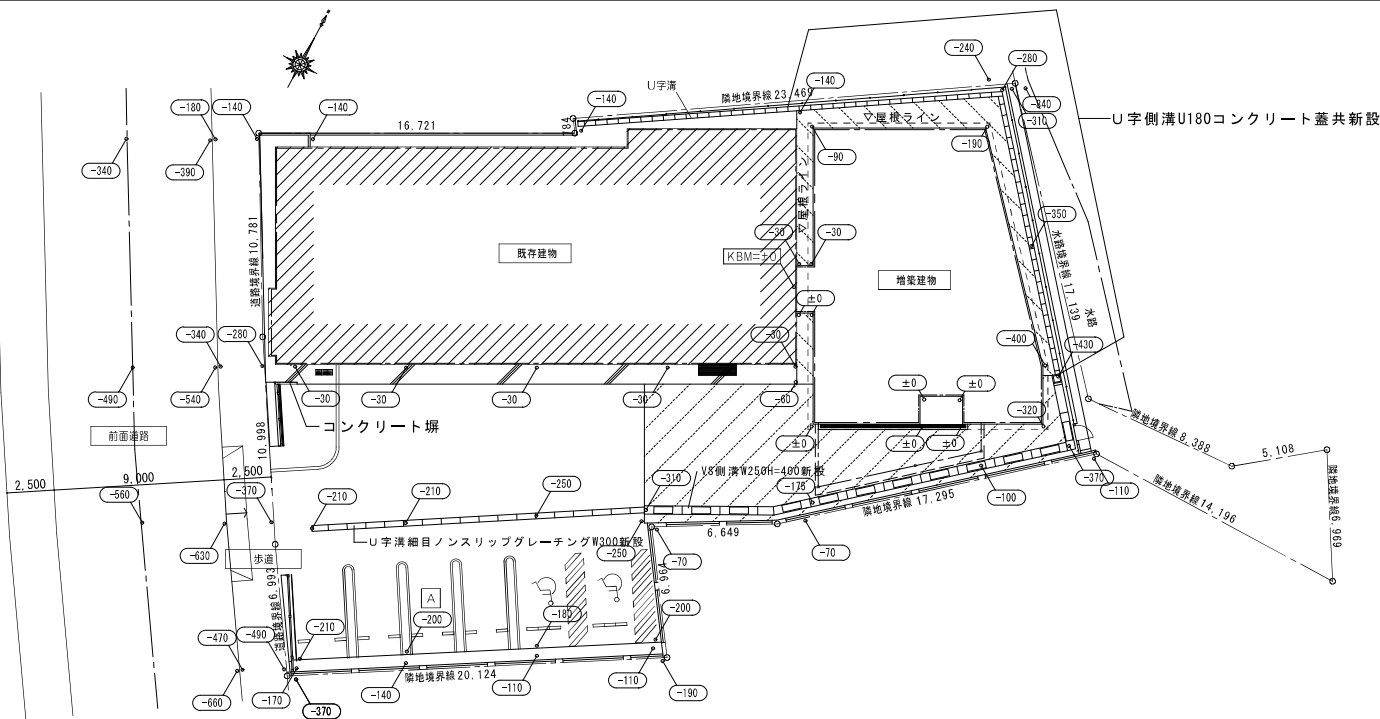


種別方式・見込	両袖FIX窓付両引分自動ステンレス扉戸	30	2連引違窓撤去	70	引違窓袖、ランマ2連FIX窓撤去	70
硝子	強化ガラス t=10.0		フロートt=5.0		フロートt=5.0	
仕上	SUS製HL仕上		アルミシルバー		アルミシルバー	
金物	自動ドア吊金物他一式 自動ドアエンジン撤去		戸車、クレセント他		戸車、クレセント他	
備考	ハッチング部のみ撤去 (上部扉板は、点検カバーのみ撤去)		既設枠は、残すこと		既設枠は、残すこと FIX部分は、カバー工法 FIX部土間モルタル金コデ押えカッター入れの上撤去復旧	

符号・室名・数量	S.D 1	既設玄関	1	A.W 1	既設多目的ホール	2	A.W 2	既設多目的ホール	1
種別方式・見込	両袖FIX窓付両引分自動ステンレス扉戸	30	2連引違窓ランマ外倒窓	70	引違窓袖2連FIX窓、ランマ2連外倒窓	70			
硝子	網入りフロートガラス t=6.8		フロートt=5.0		フロートt=5.0				
仕上	SUS製HL仕上		アルミシルバー		アルミシルバー				
金物	自動ドア吊金物他一式 自動ドアエンジン新設		戸車、クレセントその他一式 オペレーター装置		戸車、クレセントその他一式 オペレーター装置				
備考	ハッチング部のみ新設し防火設備にすること (上部扉板は、点検カバーのみ新設)								



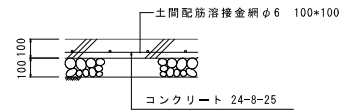




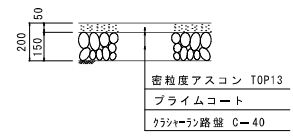
外構図 1/200

撤去リスト	
符号	仕上
	アスファルト舗装 t=50 路盤 t=150 新設
	押えコンクリート t=70 砕石 t=100 新設
	VS側溝 W250H=400 新設 細目ノンスリップグレーチング蓋共
	U字溝 細目ノンスリップグレーチング W300 新設
	VS側溝用樹 W440H=500 新設 細目ノンスリップグレーチング蓋共

舗装断面図 1/20



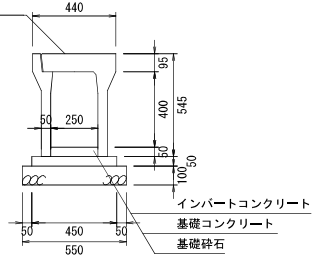
コンクリート舗装 1:20



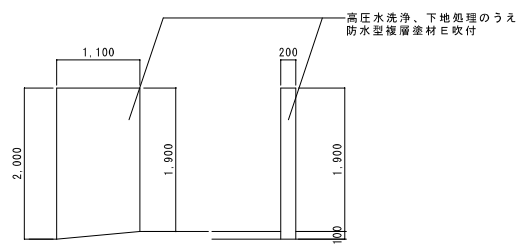
アスファルト舗装 1:20

VS側溝 250×400 断面図 1/20

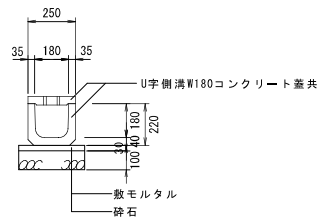
コンクリート蓋または  
細目ノンスリップ  
グレーチング蓋

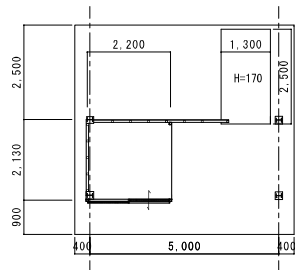


コンクリート塀詳細図 1/50

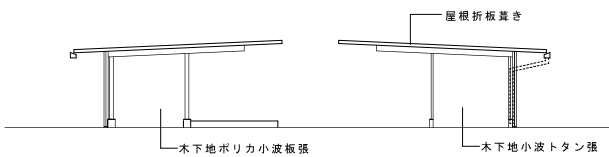


U字側溝 断面図 1/20



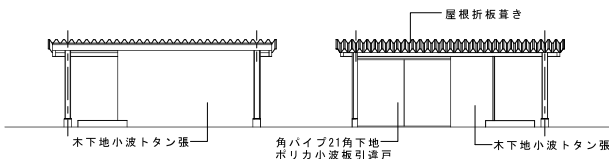


平面図 1/100



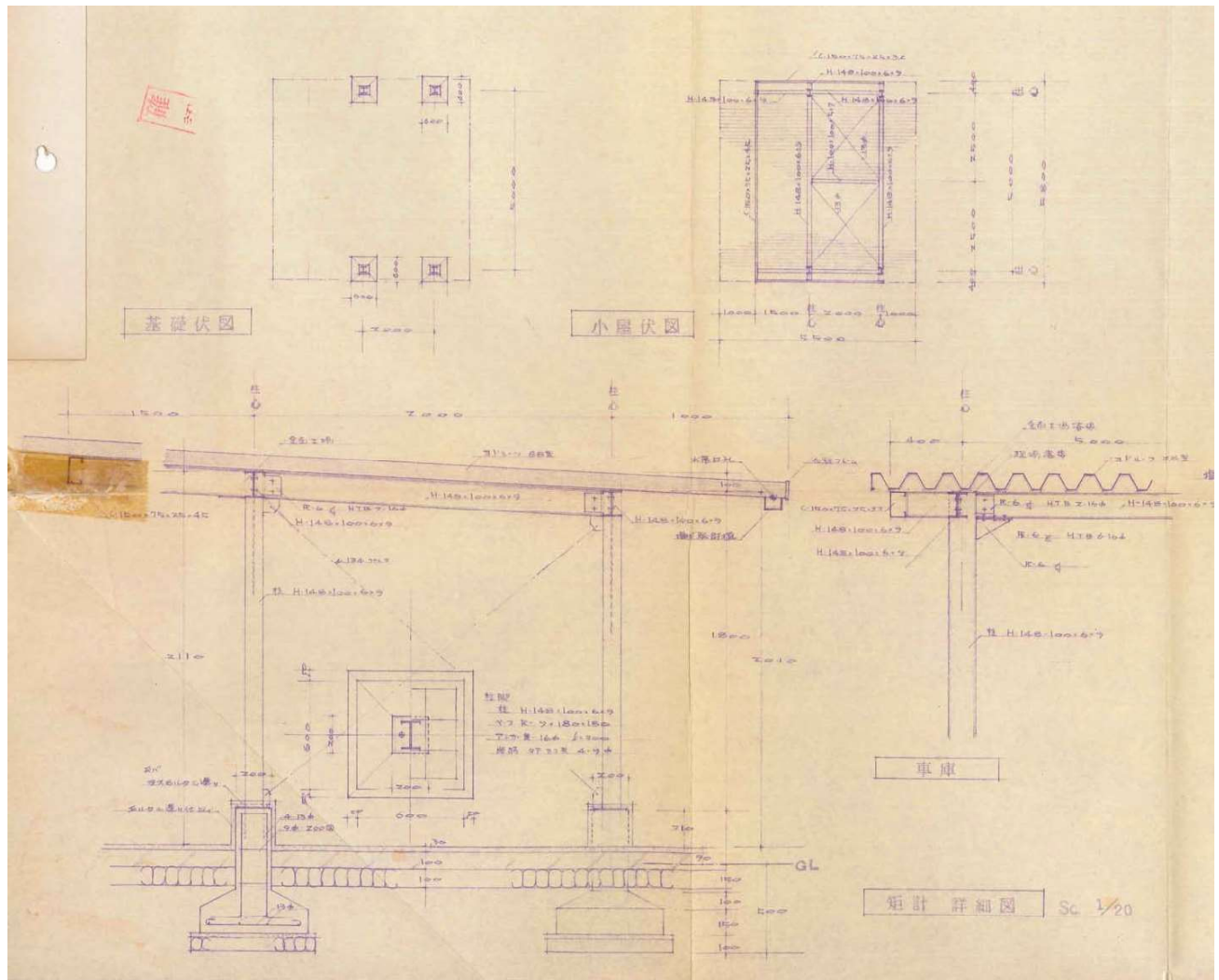
西立面図 1/100

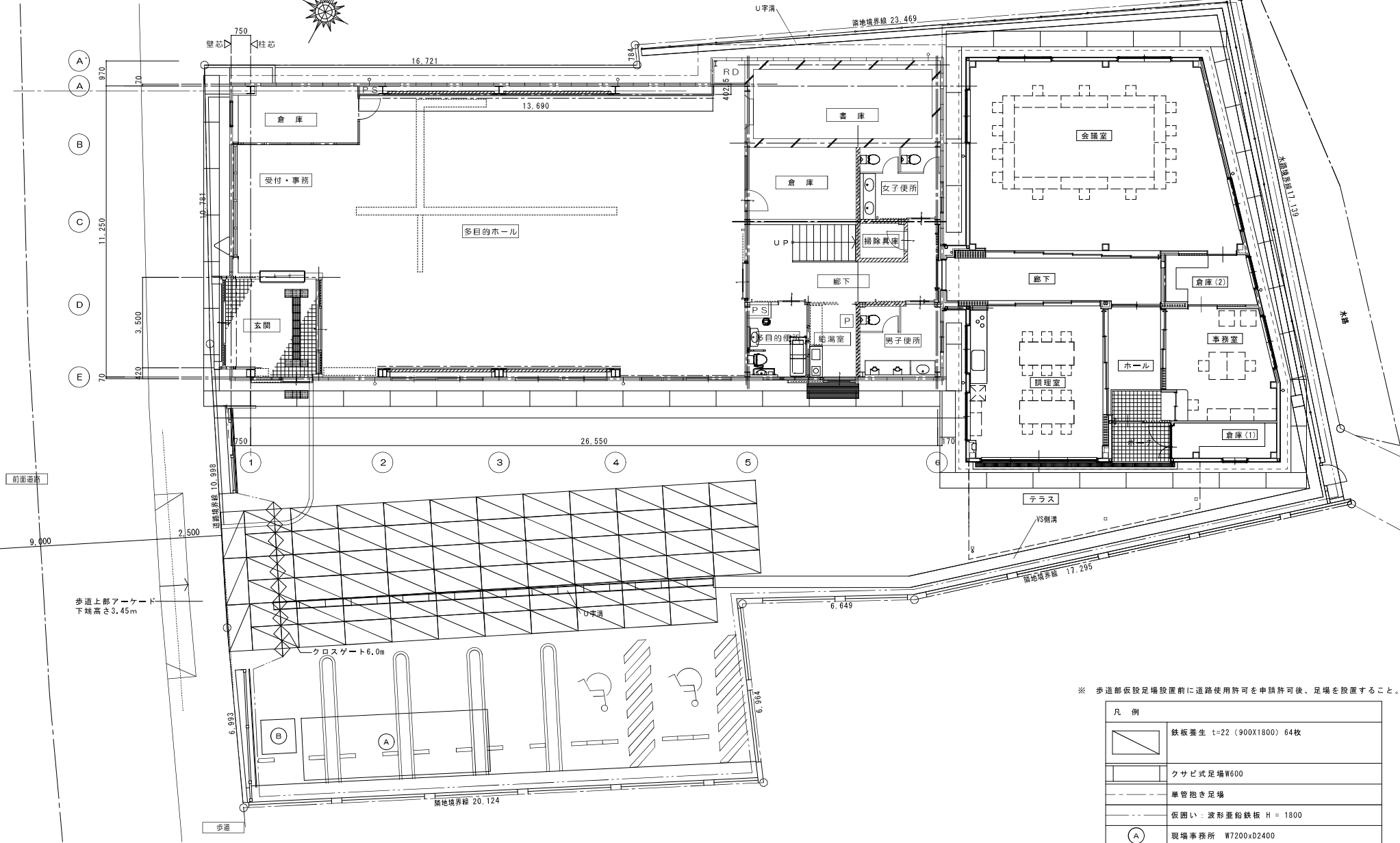
西立面図 1/100



西立面図 1/100

西立面図 1/100





※ 歩道部仮設足場設置前に道路使用許可を申請許可後、足場を設置すること。

凡例	
	鉄板養生 t=22 (900x1800) 64枚
	クサビ式足場W600
	単管抱き足場
	仮囲い：波形亜鉛鉄板 H = 1800
	現場事務所 W7200xD2400
	仮設便所